京城日報

二月二十八日夕刊（朝夕併せて八頁）

本紙定價　一箇月金七十五錢　廣告料　發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　編輯兼發行人　奧田直毅　印刷人　小川三之介

第四十一回帝國議會

貴族院豫算總會（第六分科會）

朝鮮棉花及甜菜栽培＝鮮鐵滿鐵委託＝鮮鐵新線路建設問答

二十七日午前十時廿分開會、劈頭佐竹族準男より朝鮮留學生の行動に就き質問あり政府の要求により之を秘密會に移し更に公開後安場末喜男甜菜及棉花栽培に就き質問を爲し鈴木政府委員（度支部長官）之に答へて甜菜は昨年平安南道に試驗的の栽培を爲せしが好結果を得たり　棉花は目下第二計畫として十年間に十三萬五千町步を慶尚、忠清、全羅三道の南北に增植する方針なりと答へ安場男更に甜菜の栽培は朝鮮南北何れに適せるやと問ひ鈴木政府委員右は平壤及び黃州附近なりと答へ尚ほ同男、藤田四郎、鎌田勝太郎氏等と鈴木政府委員との間に問答あり次いで石塚英藏氏朝鮮鐵道の滿鐵會社に委託せし効果如何と問ひ鈴木政府委員朝鮮鐵道は兩三年來貨物輻輳し收入も從つて增加せり今日經營上好成績を示しつゝあるは朝鮮總督府と滿鐵の相提携せし結果なり　特に石炭の供給は之が爲め非常の利便を收めたるは欣ぶべき現象と云ふべし當初の契約は一々總督府に於て監督する事とせしが右は頗ぶる煩雜なるを以て政府は投資額に對し百分の六の利益を擧ぐることゝし三箇年の期限を附し委託契約を締結せりと答へ尚ほ石塚氏新線路建設に不便を感ずる事無きやと念を押し鈴木政府委員新線路設定は滿鐵の委託に關係無く總督府のみにて決定せりと答へ更に藤田氏と鈴木政府委員との間に問答あり（以下朝刊へ）（東京特電）

◇講和調查委員會

白耳義の要求せる調查委員會はタルジュ氏を議長に選擧し直ちに審議を開始せるが戰爭責任者調查分科委員會も再び會同し又羅馬尼委員も塞耳維委員の要求を調查せり（巴里電報）

◇本多駐瑞公使不滿

（巴里特約員發電）瑞西駐剳公使本多熊太郎氏は一週間前巴里に於ける日本講和全權委員本部にありしが先般の忠告に耳を藉さずベルン（瑞西首府）に向け歸還せり原因は意見の衝突なりと推せらる（十八日發）

◇ミユンヘン秩序恢復

社會黨獨逸社會黨協定成立か

無線電信に依るミユンヘンよりの報道は何れも同市が平常の狀態に復したることを報じ今や砲聲全く歇み同盟罷業も終熄し民衆の示威運動は既に禁止せられ中產階級の新聞は革命黨情報局より給與せらるゝ種類の報道を掲載するを許さるゝのみ其報道は多數社會黨と獨逸社會黨との協定既に成立せる旨を報じつゝあるが是等の二黨は國內問題に對し完全なる一致を見居らずと傳へらる獨逸社會黨員の希望する所は結局政府を勞働會議の手に收めんとするに在りされど兵士海員及び多數社會黨員は議會を能ふ限り速かに召集せざるべからずとの意見を保持しつゝありと（巴里電報）

◇獨租界獲得不能

米國が天津獨逸租界を獲得すべく運動しつゝありとの報あるも支那に在る獨逸租界は講和會議にて決すべく北京公使團會議にて決定し居るを以て米國の獲得運動は不可能なりと（北京電報）

◇支那商務委員派遣

支那は近く英米佛伊日の諸國に商務委員一名宛を駐在せしむることに決定したるが豫算は一人年三萬元なりと（北京電報）

◇日支軍事改訂說

日支軍事協定に就き最近改訂說傳へられつゝあるが外務當局は之れを否認し居れり又一部には其活用を一時中止す可しとの說あるも之れに對しては某方面に反對あり目下紛糾を重ねつゝあるが外務當局が如何なる態度に出づるやは注目に値す（東京特電）

◇支那要求三箇條

西伯利鐵道管理に關し

某通信員の報道に依れば西伯利鐵道管理に關する日米の通告に對し支那は左の三箇條を要求せり

（一）支那は露國と合議にて技師を派遣し列國と共同にて西伯利鐵道を管理す（二）東清鐵道に關する支那の特殊地位は豫備協約に協定せられたるものにて軍事巡檢部は支那より委員を出し任務に當らしむ（一）東清鐵道の警察廳は支那之れを設置す

支那は右に關する回答を待ちつゝあるが該問題は困難且つ複雜なるに非ず近く解決を見るべしと（北京電報）

◇張氏東清管理反對

張巡閱使は政府に對し二十五日東清鐵道管理權限及び條約上の關係並に其の利害等より東清鐵道の共同管理に就き絕對反對を主張しつゝありと（奉天特電）

◇吉林督軍更迭說

孟吉林督軍辭職說に伴ひ鮑黑龍江督軍其の後任たるべしとの說を爲すものあり（東京特電）

◇加納子爵薨去

從二位勳二等子爵貴族院議員加納久宜氏は兼て病氣に罹り別府にて療養中廿六日薨去せり享年七十有三（東京特電）

▲略歷　加納久宜子爵家は遠原鎭足の苗裔從五位下遠江守加納久通の後なり久通は紀州藩主徳川吉宗に仕へて功あり其後遠江守久通に至り代々上總國一の宮に居城し從五位下大和守久恒に至り久宜子其後を承く久宜子實は立花式部種道の次男嘉永元年三月十九日を以て生れ慶應三年先代久恒の養子となり其封を襲ぐ明治藩籍奉還し同年一の宮藩知事となる同六年文部省八等出仕仰付られ後督學局八等出仕となり同九年中錄學に任じ後檢事に轉じ同廿三年貴族院議員に任ぜらる同年東京控訴院檢事に補せらる同廿七年鹿兒島縣知事に任じ同三十三年休職となり再び貴族院議員に選ばる退官後專ら力を公私經營の爲めに盡瘁し進んで舊領地一の宮町長となりしが如き其一例なり日本赤十字社監事、十五銀行、丁酉銀行、一宮商業銀行、帝國倉庫會社等の各取締役の職にあり日獨事件の功に依り勳二等瑞寶章を賜はる

◇多久中尉逝去

英軍從軍武官としてライン河畔のケルンにありし多久工兵中尉は流行性感冒にて廿日逝去せり（東京特電）

◇第一航空隊凱旋

西伯利出征の第一航空隊は二十七日午前十時四十五分下關に歸着凱旋せり（東京特電）

◇銀行國葬休業

三月三日の國葬儀當日東京組合銀行及び代理交換銀行一同は弔意を表する爲め臨時休業することに決したり（東京特電）

◇東亞煙草擴張

支那に工場增設

東亞煙草會社は事務發展の爲め近く株主に向け新株未拂込金十五圓の內十圓を來る四月中に拂込むべき旨通達し尚ほ本年中に適當の機會に殘額五圓の拂込完了と同時に七百萬圓の增資を發表すべく即ち同社は一躍資本金一千萬圓に增額し右新株四分の一拂込百七十五萬圓を以て南北支那に工場增設の內議ありと（東京特電）

◇安達氏等渡歐

憲政會所屬代議士安達謙藏、岡本綺堂、伊坂梅雪三氏並に上山草人夫妻は二十七日渡天津丸にて渡米の途に就けり（東京特電）

◇秋山白水兩將軍通過

閑院宮の國葬儀に參列すべき秋山好古大將並に下關要塞司令官白水淡中將は二十八日朝釜山上陸鐵道ホテルに少憩の上午前十時三十分發列車にて北行せり（釜山特電）

◎總督茶菓饗應

長谷川總督は二十七日午後四時より目下入城中の道學務主任十三名及び會同關係職員一同を京城ホテルに招待茶菓の饗應を爲せり

◎學務主任打合會（第五日）

道學務主任打合會最終日たる第五日は二十八日午前中田中視學官の講話午後より上田視學官の講話あり同四時散會せり

◎米價の將來に對する農民の覺悟に就て（下）

農民は怎麼覺悟を要すべきか

＝小原農商工部長官談＝

有體に云へば、米價の騰貴は農民の大福音であると同時に一大危機であると云ひ得る。米の高値が

▲將來に永續

するものであるならば、農民の爲には此上ない福音であらう。然し既往の歷史の示す如く、一高一低を免れぬものとすれば米價高に慣れて農民が將來に對し何等自ら戒する所なく徒らに奢侈の風にのみ長ずるならば一朝米價の低落を見るに至つた曉、其慘狀は實に寒想するに餘りある次第である。近來農民の懷合の良くなつた關係上、地方民の次第に奢侈に流れ澤に傾くといふ聲を耳にするのは實に寒心すべきであると思ふ。尤も我輩は農家

▲經濟の餘裕

が頗る喜ぶべき方面にも善用せられつゝあることを承知して居る。假へば舊債の償還、土地の購入特に自作農の增加、畜牛及び農具の購入、其他農桑等の改良並に肥料、灌漑事業等の增進、預金の增加等は其の著しきものであつて各道の報告は一面に於て是等の慶賀すべき事實を各種の統計材料に據つて示してあると同時に、一面に於て寒心すべき各種の材料をも無視する事は出來ぬ。尚又米問題に關聯しては此際農民及び勞働者等が懷合の良好なるに任せて從來雜穀を食ふ事に慣て居つたに拘らず

▲無暗に米食

をするといふ事も大に考へものであらう。ウカ〳〵して居ると米の一割位の消費增加は直ちに事實に現はれて來る假に朝鮮に於ける一年間の米の消費量を一千萬石と假定すれば其一割は百萬石である。之位のものを喰ひ潰すのは瞬く間である。朝鮮米の輸移出量は從來八九十萬石から二百數十萬石の間を出入して居る。一旦農民が米食の習慣に染むだなら、之を以前の雜穀食に戾すと云ふ事は容易でない。而し夫が果して

▲農民の將來

の堅實なる向上を期する上に、將た又朝鮮產業の大宗たる米の移出を增す事に依つて朝鮮に於ける經濟界を潤澤ならしめ、且つ內地に於ける米の調節を計る上に、如何なる影響を及ぼすべきや乎に想到すれば、何れの方面から見ても此問題は輕々に附すべきで無い。要するに此際農民に對しては常套語の樣ではあるが極力奢侈を戒め其餘裕を善導して、將來の計を成さしめ、尚ほ餘裕あるに於ては更に進んで

▲零細の資金

を糾合して地方に有利なる事業を興さしむるも好いであらう。而して食料の如きも其自制心に依つて努めて從來の慣習を厥守せしめ以て益々堅實に農家將來の向上を期せしむべきであると思ふ。

◎土木所長會同

三月十日十一日の兩日總督府第一會議室に於て土木局出張所長事務打合會を開會の筈なり

◎土木主任打合會

三月十二、十三、十四の三日間總督府第二會議室に於て各道土木主任事務打合會を開會すべし

◎定例長官會議

二十八日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督山縣政務總監以下各部長官局長並に所屬官署長等參集諸般の事務に就き審議せり

◎期米暴落

內地崩落の影響

仁川期米は二十七日後場に於て激落せしが更に二十八日前場は先限三十六圓二十錢と寄附きしも內地安のため氣配よからず三十六圓丁度と叩かれしも安値には押目の買物あり更に三十六圓廿錢と戾し三

◎鮮米の內地移入

西鮮內地間定期航路問題

遞信大臣　野田卯太郎氏談

二十七日夜入城せし遞信大臣野田卯太郎氏の談に曰く

▲鮮米輸送航路　西鮮沿岸と橫濱並に阪神間の定期航路開設問題は朝鮮筋の要望もあり鮮米輸送を圓滑ならしめんとする趣旨より日本郵船及び大阪商船に對し二月より五月迄四ケ月間運行せしむべく計畫を進め居りしが一方朝鮮各港の出穀狀況を見るに產地高走りて內地仕向け米は殆んど之れなしとの情報あり汽船會社も躊躇し居る次第なり　旁今回予も渡鮮に付朝鮮米界に於ける實情の大觀を試み歸來航路を實行せしむるや否やを決定すべく釜山にても一二有志の意見を聞き京城に入つても當局者其他よりその出穀所見を聽取する考へなり

▲何故の產地高　有體に言へば目下東京には深川在米百萬俵を算し尚ほ東北筋並に北國筋の入穀夥しく必ずしも鮮米の移入を要せざるなり然し乍ら鮮米の剩餘は之れを內地に捌け口を求めずんば如何とも致し方なかるべく鮮米の內地需要を增大せしめざれば朝鮮財界は非常の不利にあらずや予等が四箇月位とは云へ商船並に郵船に定期航路を開かしめんとするは朝鮮筋の要望と實に鮮米の內地需要を確實ならしめんとするにあり然るに愈定期航路を開かしめんとすれば開港場に移出米なきを傳ふ荷物なきに定期船を配する譯には素より行かず鮮米の移出餘力尚ほ豐富なるべきに出しなしとは何故ぞ予はその理由を測知するに苦しむなり

▲米價大勢下押　米價が最近未曾有の高値を示したれど要するに財界反動期に入り諸物價は低落の大勢を誘致したる際米價のみ獨り何日までも高かるべき理由なし既に暴落の端を現はしたるは當然のみ朝鮮筋に於てもいつ迄も米高を夢想するは大勢を知らざる徒輩なり又その勢ひを扶けたる銀行業者並に大手筋の買進みの如きは必ずしも正當視すべからず內地の供給米不足は事實なりとするもその不足量の補足は之れを必ずしも朝鮮米のみに求めずとも支那米あり西貢米あり蘭貢米あり鮮米高張らば遂にその內地に於ける需要を失ふべし斯る思惑熟は打破せざるべからず

▲外米の輸送　西貢米蘭貢米解禁等各種の新聞紙上に掲載さるゝも商人の捏造多く必ずしも信を措き難し然し乍ら外米の輸入可能なるは事實なり現に昨年十月より本年一月十七日までに二百五十九萬石の輸入ありたり又今後外米の大輸入を行はんとする場合その輸送力如何と云ふに船舶管理令を實施すれば帝國船舶のスエズ以東就航船は現に千噸級以上百二十二隻三十六萬四千噸あり一噸七石積とするも百萬や二百萬石の輸入は何等問題とするに足らず

▲海運界逆潮　海運界の逆潮は當然のみ直言すれば最も多く又最も早く利したる海運業者が時局平定後先づその打擊を蒙りたるなり目下の所船價は昨年の最昂騰時代に比し約四分の一に激落し運賃は約三分の一を辛うじて保持しつゝあり然も英米の運賃の一に慘落したるに付尚ほ幾割かの傾きあり又阪神船主の大會社設立の計畫もあるにはあれど何分船會社を設けて計畫者は自己の持

▲朝鮮の麥　朝鮮には二年四箇月目の渡來なれば格別の感じもなし唯沿線を瞥見する所麥作の面目を改めたるを見る久々の渡鮮にて緩々滯在したきも政務多端殊に選擧法改正案の下院上程等差し迫り居れるに付國葬參列の翌朝乃ち四日出發歸東すべし

◎京畿麥作近況

京畿道內麥作狀況に關し道勸業係當局の語る所によれば未だ各地方に於ける調查の運びには至らざれども目下の所にては何等の障礙異狀あるなく極めて順調に進行し居れるものの如し而かも昨年以來米價高に連れて一般穀價昂騰したる關係上作物は槪して盛況を呈すべく管內麥作付反別の如きも前年の九十二萬六千餘町步に比すれば多少の增加を來すべしと觀測せられつゝあり

◎新甫內氣配

仁川五月限の新甫は同鞘若くば廿錢見當の下鞘發會說あり從つて三十六圓十錢乃至卅錢見當ならんとするも目先騰落關係は內地の正米が期米安に伴隨するや否やにより決するものと見得べし唯京阪共に稍や下りすぎの氣味あれば幾許反撥を見るやもはかり難きが如し

◎京畿水道調查

京畿道水道當局にては這回の國葬儀に際し多數の人士京城に來集すべきを想ひ過般來纛島水源地より市中に至る配水管及び市內に分布せる給水管の調查をなし不完全の部分を改修したりと

◎土地會社總會

朝鮮土地經營株式會社は第一回の株金拂込を終了したるを以て二十七日午後一時より銀行集會所に於て創立總會開會創立委員長たりし吉田秀次郎氏議長席に着き創立經過の報告あり夫より取締役及び監查役の選擧を行ひ更に株主中より商法第百三十四條の規定に基き檢查役二名を選び成規の取調をなし次いで其正當なる旨の報告を了して閉會し尚ほ取締役社長に吉田秀次郎氏專務取締役に三好和三郎氏取締役に河村千治郎高山孝行後藤松太郎古城梅溪篠崎半助の五氏監查役に石原磯次郎萬澤正次郎肥塚正太の三氏相談役に唐川立造池田長兵衞の二氏を選任せり

◎遞相等歷訪

二十七日夜入城せる野田遞信大臣古賀拓殖局長官小宮錦鷄間祗候秦山事官一行は二十八日午後一時半總督官邸に長谷川總督を訪問次いで鮮波通譯官の案內にて德壽宮に赴き李王殿下に謁見せり

◎谷田少將來鮮

陸軍少將谷田繁太郎氏は二十八日內地より着釜一兩日滯在の筈（釜山電）

◎道長官入城

宮木全南元江原兩道長官は二十八日朝入城宮木道長官は浦尾へ元道長官は不知火へ投宿せり

◎松寺檢事長

平壤覆審法院檢事長松寺竹雄氏は二十八日入城不知火へ投宿せり

◎嘉納副總裁歸任

東拓嘉納副總裁は二十八日午後九時十分南大門驛著列車にて歸城す

人事消息

▲人見鐵道局長　既報の如く二十七日夜出發東上

▲小山庄三氏（鈴木商店京城支店長）安東縣方面旅行中の處二十八日朝歸城

八面鋒

◆獨逸の革命に點火したる、巴威の首相アイスネル君は、兇漢の爲に斃れ、一日置きてミユンヘンの議會に於て、首相狙擊者を、攻擊演說中なりし內相アウエル君に向つて、傍聽席より突然發砲し、內相亦斃れ、其の他の大臣等にも重輕傷者を出し、ミユンヘンは今は全く混沌たる騷擾の巷に陷れりと報ぜらる。

◆本事件は、佛首相クレマンソー君が、狙擊されたるとは、全く正反對の行き方にて、萬遠坂勳老の事にて、復辟運動の一端也。何ぞ謀叛企を極めたる、反革命派の仕業なれば其の犯罪の裏面に、前王太子ルプレヒト親王の影あり、而して王黨派の陰謀なる事實亦、明かに證據立てらるゝものあれば也。

◆クレマンソー君の災難は、非國家主義の一青年が、國家主義のクレマンソー君を呪ひたるものにて、巴威の兇變は、王黨派が革命派に反抗して、民主政治を、王政に復さんとしたる陰謀の發現也。

◆元來巴威は獨逸聯邦中、普魯西に次ぐ強國にて、一時は巴威王を帝位に即けて、聯合國を緩和せんとせし企が獨逸政治家に在りたるが如き、聯邦中屈指の一國なるが、獨逸崩潰に際し、容易に王位は瓦解し、アイスネル君が苦もなく新政府を組織し、流石に旺盛なりし王黨も、遂に屈伏せしやの觀ありたるも、然も多年其勢力を維持したる王黨が、左程脆く崩潰すべしとは思はれざる點に想到せば一時の發伏が、捲土重來を示したるものに非ずや。

◆獨逸國民は、訓練の出來居れる國民なり、巴威より點火したる獨逸の革命が、再び巴威に依て消火されんとし。エベルト政府が、獨逸帝國なる名稱を、拋棄ざるは曲者なりと、英佛新聞紙の力說する處は、即ち斯る點に存ずべし。

◆選擧法改正案も、愈政府より議會に提出せられたり。冷靜なる局外者より觀れば、之れ實に各政黨を通じての悲劇なると同時に、又厳ふべからざる喜劇的色彩を包含す、更に之に加ふるに普通選擧法案の上程を見るに至らば、益以て濃厚なる戲劇氣分を味ふに足るべし。

青星印　カーバイド　新荷到著
破格値段を以て販賣可仕候間精々御用命願上候
京城南大門通五丁目八番地
沼木村商會
電話長一三六四番

各種鞄製造及び修繕
旅行の御準備は自家製內地製品
種々取揃へ居ります
魔法瓶並中瓶入替仕候
鞄
京城本町二丁目　旅行具專業の　岩田鞄店（電話五九四番）

小石川モートル　小石川旋盤
特色　設計技術ノ優秀　材料ノ精選　價額ノ低廉
營業科目　電動機、發電機　高級旋盤、各種電鍍
株式會社小石川製作所
東京市小石川區久堅町百八番地　電話小石川三九二〇・一七一

荷物自動車
京城忠州春川間隔日往復
時代の要求に應じて荷物運搬用自動車數臺を購入して當所に於て諸荷物運搬業を開始し荷物の大小を論せず迅速安全低廉且親切を旨とし大方の御依頼に應じ可申候（市內乘用貸切自動車の設備も有之候）
京城府黃金町一丁目一八一番地
東洋荷物自動車商會
電話四六三番

春の洋裝のお仕度は是非共當代理部へ御用命下さい
各種合服地の見本御申越次第送呈致します
撚紺　糸セル　セル　各種
背廣三揃　四十圓より六十圓迄色々
詰襟上下　二十二圓より五十圓迄色々
オーバーコート　四十七圓より六十圓迄色々
トンビ　三十五圓より五十五圓迄色々
其外奏任、判任制服、御婦人コート色々
京城大平通　京城日報社代理部
電話六〇〇九番・振替京城三〇〇番

◎木材着荷　舊龍山漢江河岸に全部集積しあり
鴨綠江產　紅松、胡桃、原木
內地產　栓、櫨地、朝鮮松丸太
板小割材新荷著　据口一尺以上長さ二間以上　一尺五寸迄三間　約四千本
右薄利御相談に可應候
小野田セメント特約販賣
京城本町二丁目電話長三七〇番　山本村太郎
京城岡崎町停留場前電三〇〇七番　同　材木置場

時間表（大正七年七月一日改正現行）[illegible]

◇大輿を圍める(大漢門前)群集(二十八日午後一時)

◎大輿行進の豫習
二大豫習の見物人市内に雜鬧す 朝鮮式葬列の豫習儀

二十八日午後一時より國葬儀に加へらるべき大輿の行進豫習及び葬場より金谷御墓所に到る朝鮮式葬列の豫習儀を行ひたるが大輿は大漢門前より葬場迄黄金町通りを往復し朝鮮式葬列は大漢門より光化門の方に向ひ鐘路通りに折れて東大門外に至り此處にて返虞式を行ひ淸涼里附近に至りて引返せるが當日は此の二大豫習の見物人を以て大漢門前、黄金町通り、鐘路は非常の雜鬧を呈したり

國葬參列者

▽鈴木道長官 李太王殿下の國葬に慶北よりの參列者は鈴木道長官を始め道參事の代表者として鄭在學氏外に公務の爲め上京中の中樞院參議官及び私用にて上京せる李源城郡守等なり

▽李副會頭參列 三日太王殿下國葬儀には平壌商業會議所に於ては副會頭李鎭鎬氏代表して參列すべしと(平壌)

◎鞍馬 伊吹 ‖國葬儀差遣艦 仁川入港遲る

李太王殿下國葬儀參列並に守衛の爲め派遣せらるゝ非常司令官竹下第三艦隊司令官座乘の鞍馬、伊吹の二艦は二十八日午後二時仁川入港の筈の處濃霧の爲め二時間程延着すべし(仁川電話)

◎暹羅皇弟來朝

暹羅皇弟ロップリー殿下には廿五日午前九時長崎入港の郵船丹後丸にて御來朝あらせられ市内御見物廿六日早朝出帆神戸に向はせらる、答前駐日公使ピヤ・ナリヌラ以下七名隨行せり(長崎)

◎ク氏大丈夫 注意と時間の問題

佛國首相クレマンソー氏主治醫の發表せし最近の容態書に依れば首相の平癒は最早や單に注意と時間の問題にして今後の容態書は發表せられずと(巴里電報)

◎ブーシキンの息來る 病氣保養の爲

露國近代の文豪ブーシキンの子息は過激派の爲め毆打され負傷せし爲め二十五日浦鹽より來朝、二十七日午後八時廿分東京驛に到著せり、氏は

▽過激派 兵士に毆打されし足部の傷未だ癒わず、(爲めに從者として同伴せるクルチユニック、ドレンゴラドウオカ、ドウチンク、レーターの四氏左右に附添ひ一等車より下車するに當つて前記四氏に抱へられてプラットホームに立ちたるが、手小荷物運搬車に依りて下車口に出で、從者と共に用意の自動車に乘りて

▽一先づ 帝國ホテルに入れり、氏はオルデンブルグ縣知事にして、本年六十三歳、今回の來朝は足部の負傷を治療せん目的にて當分東京に滯在す可しと(東京)

◎京城へ、國葬の京城へ
‖群り來る拜觀者渦巻く‖ 汽車では到底輸送しきれぬ

國葬儀も愈旦睫の間に差迫り八方から流れ込んで來る參列者拜觀者のために京城は恰も渦巻の中心のやうな觀を呈し始めた。之を立證するものは京城を中心としての列車乘客の激增である。廿七日本紙夕刊にも詳報したやうに各地からの

▽團體乘車 は到底輸送不可能の爲め會社側では絶對に申込みを拒絶して居るが是等の團體が個人として乘車するとせば普通の列車は一層の混雜を來すことになる廿七日朝釜山發同夜南大門驛着の列車の如きは戰時の軍隊輸送の光景其儘であつた。尤も同夜は勅使の一行、遞相の一行、近衛儀仗派遣隊の一行等の入城に關聯して幾分の乘客が增したことにも因るであらうが大多數は早手廻しに入城する拜觀者を

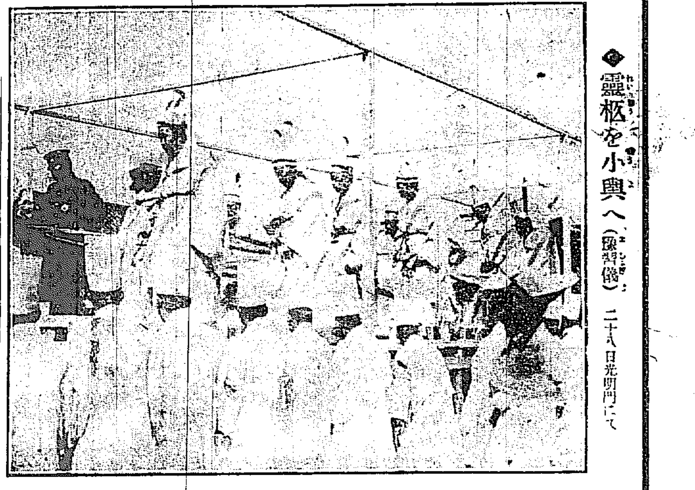
▽鮨詰めに した客車數臺に貨物蓋車とも思はれる車臺數臺を連結し二臺の汽罐車を附けて輸送した位であつた。記者は勅使、遞相其他の一行を水原驛に出迎へたが同列車の乘車券は一枚も發賣せず待合室に充滿した人々は何れも指を啣へて恨めしさうに出札口を眺めて居た。聞けば同列車は大田以南に於て既に前記のやうに最大限度の輸送能力を用ひて居たので大田驛以北は乘車券を

▽發賣せず 乘車を謝絶したとの事で各驛に於ては驛長始め驛員は何れも待合室の連中から手酷い攻撃や歎願を受け青息吐息の體であつた。水原驛などでは一等の切符を買ふから三等に乘せて呉れなど・哀願してる紳士も數人見受けたが何れも御氣の毒さまと斷られてゐた。同驛からは廿七日から毎日京城行きの旅客列車に一臺づゝの客車を增結して幾分乘客混雜の緩和を圖つて居るが大部分の人は置去りを喰ふとの事で之から

▽葬儀當日 迄は日々乘客の激增を見るは必然であるが折角驛まで押し寄せた連中を置き去りにするのも氣の毒千萬だが最大限度の輸送能力を用ひて是れだから施す術もないと同驛長は云つて居た。之は單に水原驛に一例を取つただけで水原以北や京城近距離の地方からは徒歩で押し掛る連中が多く餘り遠距離からでも大擧して出掛けまいし更に角二十七日から

▽水原附近 からが一番多く城附近、南は大田、北は平壌[illegible]からうと思はれる。日朝釜山發の列車などは列車の長さが各小驛のプラットフォームの二倍以上の長さに及び乘客は重なり合つて乘つて居たと云つても好い位に混雜して居た

◇大漢門より葬場へ 大輿(豫習)行進を始む(廿八日)



◇靈柩を小輿へ(豫習儀) 二十八日光明門にて

◎畫筆を執つて資金を……
美術館建設 ‖實行方針凝議‖

既報美術館建設期成同盟會は既に實行委員の銓衡を終り實行方針について凝議する運びになつた正木美術學校長は語る『何れ今日の會合でどう云ふ種類の美術館をどの位の費用で、どう云ふ場所に建てるかと云ふ具體的の問題も定まり其結果委員はそれぞれ各方面に向つて運動に着手し畫家は畫家で

◇自ら畫筆 を執つて資金を蒐めるやうな事にならうと思ふ而して美術館の種類が決定したら技術家とも計つて具體的のものにして社會に發表する考へであるが私一個の考へでは三通りの美術館、第一は古美術を蒐集した美術館、第二は現代の代表的傑作を集めた美術館、最後に

◇新作展觀 の美術館が是非共必要であると思ふ、尤も實行の段になれば一時に全部を揃へるわけに行くまいが、それには最も容易に出來るもの、又最も焦眉の急を要するものから順次に建たらよからうと思ふ、處でこの美術館が現代の日本に最も急かと云ふと種々意見があつて、第一に

◇古美術館 を建よと云ふ人もあるが古美術の陳列には更に角帝室博物館があつて奈良京都の博物館では専ら此の方面のものを陳列して居るから私は現に最も其會場に困つて居る新作展觀場の美術館を眞先に建設したいと希望である(東京)

◎西伯利の醜業婦
原産地から救へ
實情を視察して歸つた 林歌子女史の叫び

基督教婦人矯風會から慰問使として西伯利へ派遣された同會大阪支部長林歌子、同本部書記宮川靜枝、同部長ミス、ラグットの三女史は西伯利の途次二十八日午前八時南大門着の列車で入城、朝鮮ホテルに入つたが歌子女史は語つて曰く『今月の七日に敦賀を出 まして浦鹽に上陸し、同地に四五日滯在した上ハバロフスクに參りました、ハバロフスクから直ブラゴエチエンスクの方へ參る心算で御座いましたけれど、汽車が御話にならぬ位亂脈を極めて居りますので俄に豫定を變更し一日浦鹽に引き返した上哈爾賓に向ひ長春を見て

▽歸朝の途 に就いたやうな始末で御座います。其間漸く二十日許り、眞に切詰めた旅行で御座いますけれど時日の短い割合には隨分細かいこと、變つたことを觀て來た心算で御座います。日本の出兵以來過激派はすつかり影を潛めたやうですが然しまだまだ油斷は出來ません。夫れで與節の露西亞人なぞは

▽日本兵が 居さへすれば安心だと云ふので、何れも風を望んで日本軍隊の守備して居る土地に避難して來ると云ふ有樣です、お蔭で浦鹽なぞは非常な人口の激增で、何んでも唯今では三十萬からあると云ふ事でした。從つて忽ち住宅の拂底を來し折角避難して來たもの、棲むに家なしと云つた

▽哀れな人 も少くありません、軍隊の慰問は主として米國青年會と日本青年會が手を著けて居りますが、その活動振りは頗る目醒しう御座います、慰問の方法は特別仕立の貨車に日用品を積み込んだ上沿線の軍隊に供給するので、中には物に依てホンの實費位を頂戴するのもあるやうです日本青年會は其他俱樂部のやうなものを

▽娯樂場を 特設して慰問に努めて居ます、ハバロフスクでは巨きなお寺を借り受けて俱樂部にして居ましたが、私が參りました時には恰度お汁粉が出來たところで軍人さん方は子供のやうに大歡びで御座いました、その俱樂部には散髪所の設備もあり、其處では軍人さん方が自由に交る〴〵散髪して居られましたが、是は

▽大層便利 で氣の利いた設備だと思ひました、今度の視察で最も驚きもし恥かしくも思ひましたのは到る處醜業婦が跋扈して居ることです、ドノ位居るかは格別調査したものがないので正確なことは判りませんが、ハバロフスクなぞは約四百の在留邦人中その半數は醜業婦と云つても好い位です。是れについては

▽領事館邊 りでも隨分御心配の御模樣ですが幾ら心配して見てもその根源を絕たぬ以上は駄目だと思ひます、夫には何うしても各方面、各階級の人が心を合せて是れ等の婦人がまだその原産地に居る時に善導せねばなりません、その方法は種々ありましやうが、私の考へでは矢張り是は

▽教育の力 を借りるのが一番好いと思ひます』と女史は廿八日午後一時半から旭町一丁目のメソヂスト教會で有益なる講演を試みたが、日早朝大邱に向ふ筈

西伯利歸りの林歌子女史(中央) (右)宮川靜枝女史 (左)クラゲット女史

◎講談や落語
立派な教育機關 寄席の入場者が三百萬

敎育と云ふものは單純な理論一片のものでなく、一朝世に立つた場合大いに之を活用せねばならぬ、多くの學生が學窓内で覗いた社會、愈々活舞臺に出て、社會的事業に携はる社會とは、果して同一のものであつたか否か、斯う云ふ事がその因を爲して通俗教育問題が、治く注意されて來た、其の結果之まで惡德養成所と見られて來た活動寫眞や、劇場寄席が

◇教育上 必須なものと見られて來た、それは今更喋々するまでもなく、激烈な生存競爭の渦中から脫して、のんびりした別天地に遊ばれるのはこれ等の特色である、今寄席劇場活動寫眞の入場者數を大正六年に調査して見ると、實に驚く勿れ、東京二百〇八入として市内一箇年の延入場者は二千九十四萬千七十三人、殆ど我邦人口の三分の一を占めて居る中寄席の

◇入場者 は二百九十萬以上に上つてゐる、曾て教育調査會が頭腦を絞つて腐心しつゝあつた思想統一問題で、通俗教育を盛んにするとに決したのも之れに基因する、東京市内には現在八十六の寄席があるが、浪花節は中でも最も高位を占め、次いで落語、講談の太夫の順で其他は殆ど問題でないと云ふ(東京)

◎滿蒙產の高粱
米の代用品として結構

米價調節の一端として各種の代用食品が研究されて居るが近く農商務省水產課に於ては滿蒙產高粱に加工したる食料の試食を研究するさうである水產課の一員は語る『高粱加工食料は未だ試食して見ないから充分なことは言へないが加工の徑路や成分分析を見ると相當な效果があるやうに思はれる、つまり食方は此の

◇高粱を漂白 して色を白くし、また一種のあくのあるのを除いたものを米の樣に搗いて精白し麥飯と同樣に白米の中に何割かを混じて炊くのであつて其味も至極結構であると云ふ事である兎に角滿蒙に於ける高粱の產額は三千萬石に上り輸出されるものが約一千二百萬石に及び居るから之を利用して

◇米飯の節約 を十分にする事が出來れば非常に經濟である又一方高粱そのもの、價格は如何かと云ふと一石の原價が七圓であるがそれに大連に於ける諸掛の運賃、搗減り、搗賃、漂白費、[illegible]等を加へて一石の價が十三圓七十五錢となつて現在の其他取扱費等を加へて[illegible]大麥一石十六圓七十錢、小麥廿二圓八十錢、裸麥二十五圓等に比し

◇遙かに低廉 であるから此成績が良好であると食料經濟の上に多大の影響を與へる事と思ふ、又滋養があるか如何かと云ふ問題になるが滿鐵中央試驗所の分析に依ると水分が一一、九二パーセント、粗脂油四、六六粗蛋白質が一一、七零、粗纖維二、三八澱粉六二、六八、灰分一、八二で相當な滋養價を持つて居る』

◎鳶口瘡蔓延 (北慶) 永川郡は十一頭に上り

慶北永川郡琴湖面五峴洞に三頭の鳶口瘡發現し直ちに臨時防疫所を設立して交通遮斷及び獸疫の健康診斷開始等極力之れが防疫に努めつゝあるが二十六日に至り更に五頭の眞正罹病牛と三頭の疑似患牛を發生し疑似牛に對しては目下檢疫中なり而して尚ほ二十七日に至り達城郡月背面上洞にも一頭罹病せし事發見され直ちに同洞に家畜の出入を遮斷し又戶口調查を行ひ大に防疫に努め居れり

◎ますやの二圓均一デー

本町五丁目の同店に於ては三月一日二日の兩日平素の御愛顧に報ゆる爲め店頭に數百點の見切品を陳列し二圓均一にて賣出す由

灯とし頃

▲覆審法院七號大法廷では廿八日强盜殺人犯郡野川義雄に對し判決言渡しがあつた義雄は無期懲役位になりさうなものだと心の内で高を括つて居た處が又復死刑を言渡されたのでギャフン▲それに引續いて開かれたのが辛應喜の强盜殺人事件の言渡し之も又死刑を言渡されると法廷へ引つくり返つて哀哭々々とサンザ暴れて法官を手古摺らせたさても往生際の惡い

◎『義雄を死刑に處す』
‖繭商殺控訴公判言渡‖ 更に上告か

强盜殺人郡野川義雄の控訴公判々決言渡は廿八日午前十一時十五分覆審法院七號大法廷に於て塚原裁判長喜頭、波野平兩陪席判事岩山書記寺田檢事代へ水野檢事代理にて開廷傍聽席は相變らず滿員被告義雄は何時もの如く紋附袴の深編笠姿にて多數の警官に護られつゝ入廷塚原裁判長は是迄の犯行爲を一々述べて重き刑を採りたる旨を述べ主文の如く判決言渡しをなす旨を宣して十一時五分閉廷せり

主文

原判決中被告義雄に關する部分を取消す

被告義雄を死刑に處す

押收及び領置物件中第一號の金渡證書一通第二號の委任狀一通は各之を沒收し第十一號の十圓朝鮮銀行券中千三百枚第二十九號の五圓日本銀行券四枚第三十六號の十圓同上三十八枚第三十一號の百圓同上一枚は各之を被害者に還付し其餘は總て各所有者に還付す

大正八年二月二十八日

覆審法院裁判長 塚原友太郎
同陪席判事 喜頭兵一
同 波野平四郎
書記 岩山徳兵衛
檢事 水野重功

右言渡し終るや被告義雄は顏色俄に蒼褪め微かな蹌踉を見せたるも辛うじて身を支へ警官に護られつゝ退廷せり因に義雄は上告する模樣なりと

◎亭主捨て 不貞な妻の驅落

本町四丁目廿七番地永田卯[illegible]の[illegible]市内大和町旅人宿大和館にかねが[illegible]或る鮮男と夫婦氣取りで宿泊して居ること判明したので早速踏込んで見ると二人は早くもそれと知つ[illegible]斷然踏んで口惜がつて居るとは然もあるべし

◎金泉の宿屋荒し

去る二十日京城府十四番地金泉驛前旭屋旅館に宿泊したる客の大島紬の羽織を窃取したる騷ぎに此旨憲兵分隊に急報し分隊にては直ちに附近捜査の結果旭屋を距る約五丁の松林中に於て[illegible]約三十五圓なりと云ふ(大邱)

◎連絡船上陸客

廿七日午前入港高麗丸一二等客

一等三十名、[illegible]

二等(百七名)奥保夫大川、原清、松崎直人、板谷うめ、吉川良一、武田一、天野喜一郎、木村なつ、田端三、三瀬北藤、山敬竹、北崎房太郎、同妻、上田さ、武田幸、[illegible]、同妻、[illegible]久保満、松尾重信、樋口剛、[illegible]、荒木武雄、[illegible]、田中[illegible]、[illegible]

廿七日午後入港壹岐丸一二等客

[illegible]

天氣 京城地方 晴一時曇

[illegible]

……四時頃家出したるまゝ歸宅しないので未だ發は八方に手分けし……商業を營る内不圖した事から……て飯を喰つて逃走した男と云ふのは市内黄金町三丁目の或る毛皮商の職工牧祭と云ひかねさは餘程前から深い仲だつたらしく……宿に投宿中なる帝國生命保險會社……に隱忍び入り同氏の衣物全部を盜み……事を發見し……殺害されたる被害者の……トランク及び保險證券、診斷用具（價格百圓）丈けは發見したるが被害額は中島氏約六百圓外に隣室投宿客の羽織……

日根野要太郎、三宮月亞光、木村森……田卯太郎、彭山鐵三郎、桑山鐵男、手塚帶……太郎、氏田衛、小宮三保松、古賀康毅、村……野快吉、篠村健、奥田貞次郎、坪井群……二郎、外人九名 末……同夫人、同綾子、秀……大洞元吉、水谷文二、……おす子、黄克忠、日高……信準、……竹内應吉、石……高橋富殿、……同さき、同正……口捷二郎、坂田幸……助、丸岡かつ、前川よし、……た、光政 一、小山貞…… 一等八九名）福田……請吾、小宮來郎、濱名寛……次、久保田省三、外人一名 二等 四十名 北川直吉……浦井高理、龍井伊之輔、永田…… 山縣正……、福田年……三名（百九十五名）

水ぬるむ

大連近事 食料問題と投資と工業動員

滿洲粟と高粱の朝鮮輸出計畫

近來朝鮮米の内地移出に伴ひ朝鮮人の食料問題は可成重要なる問題として一般に注意せらるゝ處となり之れが緩和策として滿洲粟及高粱の朝鮮輸入は在滿洲内地人及朝鮮人に依りて企られ既に奉天を中心として約八十萬石の滿洲粟を購入し一月より五月迄の間に約五十萬石の輸出を企て居れるが何分滿鐵の輸送力も切り詰めにして餘裕を殘さゞるの折からなるを以て奉天總領事の斡旋の下に奉天朝鮮人會長鄭兩朝氏は此の程來連滿鐵會社川上理事を訪問し朝鮮輸送雜穀に關し特別なる便宜を得たき旨を懇談し同理事に於ても朝鮮人の生活問題に關する事なれば特に便宜を圖る事とし安奉線經由の分は一箇月約二百五十車とし其他は主として大連及び營口より海路仁川に輸送する事に略内定せるが現時の相場より見れば奉天に於て石十四五圓の粟が京城に於ては三十一二圓を唱ふる有樣なるが之れ等は輸送關係に由り甚だしき高低を生じたるなれば輸送問題の解決と共に相場亦大いに低落し下級鮮人の食料問題も幾分緩和せらるゝに至るべし

大連市の豫算額

大連市通常市會は廿四日より開催二十六日委員會大正八年度歳出入豫算を議了したるが豫算は僅少の修正を加へ原案の通り可決せるが大正八年度歳出入豫算は歳入出金三十二萬三千百二十八圓にして歳入の主なるものは經常部賦課金十五萬九千二百十五圓授業料一萬五千三百四十三圓水道收入五萬一千三百[illegible]……使用料、手數料……物品賣拂代……十六圓臨時部……歳入臨時部財產賣拂代二萬五千九百圓、歳出經常部役所費、給料雜給……消耗費……三十三圓……[illegible]……三千圓（沿出臨時部繰出費補助五千圓）學校……統合移轉費六千七百四圓、……下水改良諸費二千十五圓、實科女學校設備費一萬一千百七十一圓、負債償却費二千六百十三圓にして之れを大正七年度歳出入豫算十五萬七千餘圓に比すれば增加額實に十九萬一千六十一圓にして市民の賦課平均一戸當り九圓五十六錢八厘に當り大正七年度の一戸當り平均六圓五十錢に比し五割即ち三圓餘の增率となりたり

軍需工業動員法

關東都督府にては軍需工業動員法施行に關し調査を開始する事となり先づ大連旅順兩民政署滿鐵會社沿線各地警務署と打合せの必要上二十四日民政部に旅順民政署……長大連海務局鎌田技師大連民政署白土警部滿鐵唯根調査課長長春營口安東各警務署員集會し民政部鈴木地方課長より同法制定の精神及び法文の説明あり前記各員より夫れ〳〵質問及び調査手續等に付き打合せあり午後三時閉會せるが同法は多分來る四月上旬より施行せらるゝ事となるべし

○土匪の如き過激派 哈爾賓に於て 志岐兵站監の談

先般記者は所用を帶びて哈爾賓方面へ旅行した、其時は恰も哈市長春兩地の兵站で例の疑獄が起つたと云ふ評判のあつた時であつた、殊に兩三日を經て陸軍省公表の武市の戰爭が屯へられたと云ふ具合であつたから哈爾賓へ來たのを幸に志岐兵站監を訪問して見ると左の如く語つた（奉天にて老先生）

哈爾賓の疑獄事件

と如何にも一大疑獄でもあるが如く突然内地の新聞に報ぜられたものだから一時は吃驚した而して議會では質問もあつた模樣だがイヤ左程の事ではなかつた、自分としては當の責任者であるから早速嚴重なる調査を命じ調査は着々進捗中でまだ其の内容の全部を公表する譯には行かないが決して社會から取沙汰されて居た樣なものではなく極めて微々たる事である』と更に話を轉じて曰く

過激派と我陸軍省

陸軍省の公表によるブラゴエシチエンスク附近の戰報は極めて簡單に其當時報告はあつたが未だ其詳報に接しないから十分な事をお話する事は出來ない、が從來の情報地理的關係及び我が軍の勢力等より考察すると敵は決して侮り易い勢力ではあるまいと思ふ而して其の出[illegible]戰死傷者の數から見ても今回の出[illegible]其中の戰爭に於ては

確に激戰であつた

らうと思はれる、兎に角に過激派[illegible]

めに共局に直接當つてるもの、若しくは並大抵なものではない、で我が軍の勢力が薄弱であると見れば直ぐ蜂起し負けさうになれば武器を捨て直ちに良民を裝ふと云ふ厄介千萬なものだから向後チョイ〳〵した衝突は絕ねないものと見ねばなるまい

革命勃發の記念日

今回の武市附近の戰爭も恰も二月二十日は革命勃發の記念日である爲め潜かに各地とも相呼應して起るべく當局は豫想して居た共に十四五日頃から彼等の運動は次第に公然となつて來た模樣であつた、元來武市附近は今尚は過激派東方の首領が潜伏してると云ふ噂がある丈け又彼等過激派も決して無謀に逃走潜伏を企てたものではない

彼等は潜伏に都合

のよい物資の豐富な地方を撰んで潜伏した譯で此の武市附近は西部西伯利のユニセイ河上流地方のエニセイスク、カンスク及びクラスノヤルスク地方と同樣全西伯利中でも物資が豐富である點に於ては他地方より一頭地を抽いでるのである

○黒鉛界復活

歐洲戰亂の爲め船腹不足と需要地との交通不如意となり黒鉛界は[illegible]ざるより斯界は一時事業を中止するの已なき悲運となり居りしが今や戰亂も終局を告げ同時に船繰りも復舊し尚從來は英米需要地と直取引若くは仲買の手を經て海外に輸出するより外何途なく本邦に於ても此れが需要の途開けたるより斯界は再び頭を擡げ平安南北各地黒鉛業者は昨今一齊に其熱を昂めつゝあり（平壤）

○畜牛の共濟會 家畜保險（一） 畜牛共濟會立案

左に掲ぐるは慶尚北道技手當松泰氏の立案に成るものにして時節柄當業者に對して多大の參考となるべきを以て以下回を追うて其全文を紹介すべし（大邱）

畜牛は朝鮮の農業上缺くべからざる要素にして農耕に運輸に食肉の供給に將た又金融に其他農家經濟上極めて重要の地位を占むるを以て從來農民は孰れも先天的に之を愛養せり而して新政以來夙に畜牛の改良增殖に關し施設獎勵に力を致し爲に其當時に於ける慶尚北道の畜牛は十萬餘頭に過ぎざりしもの今や以て尚十六萬餘頭を算し又其性質の改善せらる、等獎勵の成績頗る顯著なるものあるは洵に歡ぶべきことゝなりとす然れ共之を耕地面積に對照するときは一頭當約二町四反歩の割合にして農業上より見たるときは未だ以て農耕の需要を充たすに足らず而も農業の進歩從て畜牛に俟つもの多からんとす然るに一方内地に於ける[illegible]

今や移出牛の激增

不足は之を朝鮮に

求むる、愈多きを加へ將來益增加の趨勢にあるを以て之と最も密接なる關係を有する慶北道畜牛の移出は日を逐うて盛況を極め其飼養生産の利益は實に昔日の比にあらざるなり故に之が飼育の安全を期し良牛の增殖を圖るは實に刻下の急務なりとす由來朝鮮に於ては畜牛の改良行はれず獸畜衛生の思想乏しく從つて

疾病に對する措置

の如き極めて無謀にして假へば獸疫流行の兆あるや先を爭うて放賣し或は偶獸疫に罹るも傳播の虞あるを知りて之を隱蔽し姑息的治療を加へ爲に病毒を蔓延せしむること尠からず近來に至り一般の疾病治療に關しては改良せられつゝありと雖も尚獸疫に對しては未だ

完全なる措置を

期し難きのみならず畜牛の增加移動の頻繁交通の便は却つて獸疫の傳播を容易ならしむる虞なしとせず殊に本道農家に多數を占むる中農者以下に至りては畜牛を以て唯一の資産と爲すが故に一朝畜牛の斃死するが如きことあらんか殆ん[illegible]

忍びて畜牛の預託を受け

甚しきは耕作反別

を縮小するの已むなきに至る者あるが如きは實に遺憾至極のことなりとす茲に於てか畜牛の相互救濟の法を講じ疾病其他に因り斃死又は撲殺の場合に其の損害を塡補することとせんか畜牛の斃死に因る少數者の損害は多數者に於て之を分擔し個人の痛苦を輕減すべきに依り農家は意を安んじて優良牛を飼養し得べきが故に畜牛の改良增殖上

稗益する所大なる

のみならず獸疫豫防上の効果亦少からず然るに本道は既に各郡に畜産同業組合の設置あり何れも技術者を置き實地指導に力め且保護牛制度に基づき種畜の保護を爲し又牧野を設け飼料供給の途を講ずる等着々畜産改良增殖の施設成ること雖も畜牛飼養の安全を期すべき保險的施設の行はれざるは之れ

實に一大缺點なり

と謂はざるべからず是れ本會が共濟事業を起さむとするものゝ一に此の缺陷を補はんとするに外ならず見よ彼の火災保險の行はるゝに至り世界の建築は一大長足の進歩を來したるにあらずや畜牛も亦本共濟[illegible]

して實に畜産革新の一大事業たり抑も共濟は組合員相互の救濟にして其目的は

斃死又は撲殺に

因る損害を救濟するに在り而して其の淵源する所畜牛の改良增殖及び獸疫豫防に在るを以て之が經營は營利會社等に委すべきものにあらず假りに之を營利事業と爲さむか診斷並に評價及び料金の徵收等に多大の手數と費用とを要すべきを以て自然料金の高率を來し經營極めて至難なるに至るべし然るに組つて之を本會の事業と爲すに於ては

組合の事務員を

して其の任に當らしめ得べきを以て之が經費を要すること極めて尠く料金を低率たらしめ且つ迅速に運び得るを以て周く加入する便を得べし

共濟は上記の如く同業組合の事業として經營するを適當とすると之組合各個に於て施設せむか獸疫流行等の場合は一地方に限り斃死率の高むる時は危險分配の範圍狹小と爲り忽ち經營困難に陷るの虞れあり故に經營の安全を期せむと欲せば可及的危險分配の範圍を擴大するの要あり即ち道全般を通ずる[illegible]

○二毛作と畑 利用法に就て

食料問題の解決に就ては内外共に等しく憂慮せる處なるが之れに對し二毛作と畑作の利用を獎勵せば大いに有利ならんと信ず元來朝鮮の人は二毛作の感念薄く各地到る所良田を稻作一毛として顧みざるの不經濟なるを以て二毛作を獎勵し增收を得べく又朝鮮人は畑の利用に就て内地人、支那人に比し及ばざる事遠し畑をして食料品の耕作に利用せしむる事も亦必要ならんと某視察者は語れり

○鹽田作業始る

平安南道廣梁灣天日鹽田は毎年結氷期中は休業することゝなり居れるを以て昨年十一月より休業中のところ漸々解氷期も近づきたることて來月七日より作業の準備を爲すべく目下計畫中なるが從來十名の人夫を使役し居たるも本年は人夫九名に減じ從來の給料最低三十錢以上なりしを四十錢以上とし又最高五十錢迄を五十八錢迄となすべしと（鎭南浦）

○叺と記號（清州）

近時叺の生産は著しく激增し清州、永同、沃伊（沃川伊）[illegible]組合の如きは各方面より注文夥しく前途益多望なり而して忠清北道に於ける各組合記號左の如し

清州 工 Ⅲ Ⅱ Ａ
永同 工甲 工乙 工丙 工丁
沃伊 特 天 地 人 別

而して清州は黒色、他は紫色なり尚沃川は忠清北道内主要の生産地にして其の製品特に統一せらるを以て三等品迄を穀物用に使用せしむ

○國葬敬弔（江華） 李太王殿下國葬當日江華郡有志數十名入城して敬弔すべしと

○不自由な電燈 ◇不足勝にて困難せる◇ …長春の市民…

從來不足に下足を告げつゝありし長春の電力は其後益不足し殊に近來は動力の供給殆ど休止の狀態なる上新設市電燈にて溢滯せるもの約五六百燈に及び新申込のものに對しては表面には殆ど拒絕の有樣にて一般市民の不便夥しく一方土地の膨脹に連れ新築家屋增加するも電燈を引き得ざる爲め或は二階の大廈高樓に洋燈を吊るの珍現象を呈するに至るやも計られざる模樣なるかこれに對しては當局に於ても研究中の由にて現在の機關は既に老朽に屬し改善の途なきを以て一方之れが改新を行ふと共に機關の增設をなし一般の需要に滿足を與ふる事とするに至るべしと聞く（長春）

○研究會（江華）

江華島有志者に於ては從來當地青年に對し智識の向上を企圖する爲め書籍研究會を設立し傍ら語學修身其他を研究せしむる目的の下に本研究會を設立し將來大に發展せんとし會長に洪斗燮氏、顧問に李郡守、野田警察署長、岩佐普通學校長、講師に金濟元、金潤昌諸氏を始め總務及び幹事を置き多數の贊成を得て愈成立したるが此際會長洪斗燮氏は本會の費用全部を負擔する事を承諾し贊助員たる郡參事尹相健氏の基本金六十圓を始め多數諸氏の贊成あれば益發達を爲すべく誠に美擧と云ふべし

○義勇艦航路 浦鹽北鮮兩港間

義勇艦隊は今回更にエリドラド號（一三七〇噸）を以て浦鹽清津間に一週一回の定期航路を開始せり露國義勇艦隊は本年一月初旬よりチフウ號（二、三五〇噸）を以て清津出港元山間の月三回の定期航を開始する事となり同船は本月十八日初航として清津入港即日元山に向け出帆せり而してチフウ號が初航以來二月上旬迄四航海間の清津港に於ける貨客は積荷五百二十六噸揚げ荷二噸旅客往六十八人來四百七十二人にして既に結局終熄後なるを以て貨客の出入頻繁ならず從つて本航路は不況なるも近く浦鹽近海の漁期に入らば貨客出入共に盛況を呈せん（清津）

○滿蒙毛織（奉天）

江藤豊二氏外數名發起の滿蒙毛織會社假事務所を奉天浪花通中和興業會社内に設置したり

○鵞口瘡 北鮮に於ける

會寧鏡城方面に流行蔓延しつゝありし流行性鵞口瘡は漸次豆滿江下流沿岸に傳播し新阿山雄基其他の地方にも一月末より漸々發生し昨今に於ては益蔓延して所在之れが發生を見ざるなきに至れるが之れが爲め牛車の出荷なく運輸界は大打擊にて貿易品の[illegible]ならず日用品たる米粟薪炭等の運搬にも差支を生ずるに至り一般に困難なる感じつゝあり尚右流行地たる會寧鏡城地方は既に終熄に傾き罹病牛は全癒して夫々出役する に至れり

◇甚しき打擊 流行性鵞口瘡豫防の爲め當分の中咸鏡北道の牛市場開市を禁止さるゝ事となりたるが此結果牛仲買の打擊を蒙ること最も甚だしく從來城津より移出しつゝありし牛は吉州を中心とし附近の市場に於て之れを買入れしが開市を禁止せられし爲め取引不能となり仲買人は何れも手を拱して解禁の日を待ちつゝあるが牛移出杜絕と同時に屠殺牛の買[illegible]も亦意の如くならず都邑に於て販賣せる牛肉も日に缺乏を告げつゝあり（城津）

商況

東京株式特電（日後場引値）

東株、同新、郵船、同新、商船、同新、東紡、同新、鐘紡、同新、東汽新、富士紡新、同新、寶田石油、同新、横濱取引所、新高製糖、北海炭坑、同新、滿鐵、第一新、第二新、東拓、同新 …… [illegible]

東京現株中値（廿六日）

東拓、同新、朝鮮銀行、同新、南滿鐵道、第一新 …… [illegible]

東京期米特電 [illegible]

大阪株式特電（日後場） [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

兵庫期米特電 [illegible]

雜報 [illegible]

○正米更に弱し

正米は各地の安氣配と期米の不勢によつて人氣日に〳〵弱く殊に精米所は白米の不賣に見送りにて附値は前日より[illegible]

安の日本種玄米約二十錢

三十五圓見當

米の低落を促がす一段正

●白米ヂリ安

安の四十一圓五十錢更五

十錢に低落

●銅益々不勢

●軍隊入札米

現出しては六十圓臺割

●鐵市場動搖

急激な惡傾向

定の成立當時以上に動搖休戰約

一變動を惹起

●内地小麥漸落

麥安

●罐詰類は低調

●支那粟持合

●亞鉛線逆戻り

釘付狀態

下關相場

一圓五十錢二圓方の低落を告げ

南大門廻穀

仁川正米

神力三等合格 三十五圓五十錢見當

釜山正米市場

生魚市場

相場二十錢方の小戻

仁川期米 二十八日前場（結局保合）

各地商況

大邱米況（二十七日）

群山米況（二十六日）

市場雜觀

勢に下澁り買の難平買の便

マバラ嫌氣投げ突貫の賣浴

正米緊縮にて地場高騰

仁川米豆取引所 廿八日の四月[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助

大五仲買店

毛谷村六助 廿六番角力

百五十七席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

若侍は網を擲いてパツと投つた。が、何ういふ機會か、網は半分大地に擴がりまして傍に立つて居た仲間八助の向ふ脛へ網の重りがポンと當つた 八『アッ痛ッ、何を爲やアがる』と腹立紛れに八助はポンと網を蹴つた ○『コリヤ足蹴にするとは何事だ、不禮者ッ』八『何不禮だ、不禮は其方にあるんだ、大きな重りが俺の足に中つて、見ろ、こんなに腫た、痛いから蹴つたが何うしたんだ』○『此奴足蹴にいたして濟むと思ふか、勘辨ならぬ手討にするぞ』八『何を吐しやアがる、鍛冶屋の倅の癖に生意氣な事を云ふな、俺だつて木下樣の家來だ、汝こそは[illegible]だ、據ろなく從いて來てやりやア附け上りやアがつて、汝の樣な青二才の鈍刀が俺の身體へ通ると思ふか』○『此奴不禮な奴、武士の魂、殊に主君より拜領の此一刀を鈍刀と云つた 擬は鈍刀か鈍刀でないか試して遣るから待つて居れ』八『何を生意氣なことを云やアがるんだ、汝なぞに斬られて堪るものか』と此の仲間[illegible]も知々此の仲間[illegible]持ちと見ねて、傍へ詰寄つて來る奴を ○『汝ッ、未だ吐すか……ヤッ』と聲を掛けるや否や拔く手も見せず仲間の肩口から乳の下へかけて只た一撃キャッと一聲血煙立つて仰向けに打仆れる機、水煙を立て洲の股川へザンブと許り浮つ沈みつ流みにかゝり陷りました 若侍は○『コリヤ八助、必ず此の虎之助を恨むな貴樣が不禮をいたした故斯樣な事になつた』と云ひながら血を拭つて鞘に納め網を取上げて片手に提げ、魚籠を携へて徐々と立歸る樣子 先刻より之を見て居た飯田覺兵衞は 覺『あゝ年はゆかないが大丈夫である』と感心しながら後方から見え隱れに尾いて參りまするど、洲の股坂の大手前の御家中町のやうになつてこります所に、白壁の門構への居があります、其の門内へズイと家入りました、其の標札を見ると加藤虎之助清正と記してあります 門内へ入つて玄關所を見て居りますと 虎『母上只今戻りました』母『オ、虎之助御歸りか、又網に往つたのか』虎『ハイ、洲の股川へ漁に行きました』母『お前八助を伴れて行つたではないか』虎『左樣でございます』母『然うして八助は何うしました』虎『彼は手前に對して種々の不禮を働きました故手討にいたしました』母は之を聞いて非常に驚きました 母『何に八助を手討にしたと、何故其の樣な亂暴なことをいたす、當城内にお抱へに相成つて居る仲間衆を何の怨みがあつて殺したかは知らぬが、若しお上からお咎めがあつた節は何と申譯をいたす心算であるぞ』虎『手前が御主君より拜領いたせし刀を鈍刀だと惡口申しました故斬捨ました』母『其方が然う申しても證據がなければ……』覺『アイヤ、其の御心配御無用、其の證據人には手前がなります』母『然ういふ貴下は』と云ふ内にスイと上つて參りました一人の武士、其處に兩手を突き 覺『拙者は飯田覺兵衞と申して諸國を遍歷いたす浪人でござるが、今日圖らず洲の股川へ來つて休息いたし居り、御子息のお腕前を拜見いたし殆んど感服いたしました、彼の八助なる者は已から求めて殺されましたやうなものでございます 其證據人には手前がなりますから御心配は御無用、然しそれに就て八助の代りに手前を御家來に成し下し置かれませうなれば有難き仕合せにございまする』虎之助は熟々顏を眺めましたが 虎『拙者の家來になりたいと申すか』覺『如何にも左樣にございまする』虎『ウム、家來にいたし遣はす』母『コレ虎之助、何を申す……、倅は未だ僅うやつて部屋住の身分で、御扶持も何にも頂いて居りません』覺『イヤ〳〵扶持を頂かうとは思ひません、是非八助の代りにお使ひ下し置かれまする樣』と強つて頼み入りました、

○清津と市街地 發展と海面埋築

清津市街の發展膨脹に伴ない現在の市街地には最早家屋を建設すべき空地なく又現在の市街と新市街たる浦項洞停車場附近との連絡は天馬山麓を繞れる一條の國道あるのみにして海陸運輸連絡不便にして清津發展上障害多大なるを以て此の間の海面埋築を爲し以て市街地を得ると一面海陸連絡に便ぜんには一般の希望しつゝある所にて府に於ても豫てより之れが計畫を爲す所ありしが清津發展の趨勢に鑑み愈八年度に於て之れが施工を爲すべく設計書を總督府に提出する所ありしが而設計大要は現在の市街地たる第二期埋築地に接續し以西天馬山突端に至る一直線内を埋築する、のにて總工費は約二十萬圓を要し竣工の曉は二萬千餘坪の切取及び埋立地を得べく中約九千坪の道路敷及び荷揚場に使用し殘部一萬一千坪の宅地を得べき豫定にて同工事は充分利益ある以て府に於て經營せるに於て而は民間事業となすべしと(清津)

演藝案内

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 東京小林商會京城一手代理店 ユニヴァーサル會社特約
▲寫眞 ユニヴァーサル週報十九號
當る三月二十五日より特別作品公開
◎活劇 猛獸『人か野獸か』全五卷 米國ユ社第二回特作映畫公開 ヘンリーマクレ氏、ビアソン氏脚色 乙匪フヰルムの眞價は那邊に在りや、千變萬化する物れ無類の新作映畫に誰か賞讃の辭を惜まんや 猛獸良く情を解せり
◎活劇終編『幽靈船』十七篇十八篇 新春上場以來白熱的熱狂を以て迎へられたる『幽靈船』も愈々今回を以て大團圓
◎悲活劇『罪の報ひ』全五卷 米國ユ社第一回ザユエル特作品封切 ジョセフドゲラス氏原作 ジョーローソン、チヤニー氏へルカチス ウイリヤム、クリフオード氏 青年 ウヰリアム、ストーウエル氏 マルタ ドロンー 非リップ嬢 今回は特に普通料金にて御覽に入れ候

黄金館 電話(晝間)二二六六(夜間)二三七 京城茶山一手代理店 天然色活動寫眞會社京城 當る三月一日より引續き特別一行
スエッテランドの景
▲喜劇 豚の尻尾
◎新劇 澤村四郎五郎一派出演『百々地三太夫』 實傳
◎第四『鐵道王の娘』 米國ミユチーユアル社作 決死的冒險活劇 大活劇 會社が最近ハ妙技を盡したる大映畫 七編 八編
◎『女の生命』 原作其まゝの脚色で小説を御覽に成る 新派悲劇 前篇 封切 以上の映畫は一切御覽のみ 本興行中招待券は一切御斷申上候 寫眞長尺に付午後六時開演

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社代理店
當る二月廿五日大映畫 伊太利國某氏作
◎米國キーストン會社名作 大滑稽『チヤプリンの衝突』最長尺
◎米國ファインアーツ傑作『ドーグラスの好奇』
◎新派悲劇『都鳥』四卷 喜劇猛夫一派出演
◎舊劇『相馬大作』五卷 [illegible]

浪花館 京城明治町 電話二六〇 京阪合同落語一行 當る十五日より毎日午後六時半開演
◎落語 ◎落語 ◎落語 ◎少年落語 ◎落語 ◎掛合 ◎女 ◎落語 ◎大切茶番 [illegible]

壽座 京城本町 電話五七八 元祖阪東巳之助一座
▲前狂言 天明義賊鼠小僧 ▲切狂言 [illegible]

牛乳 病院御用 御用 岡野牧場 京城東四軒町 電話一六〇九番

三月一日 土曜日 舊二月朔日

▼五黄▲兎角不滿足勝なる日なり
▼六白▲名實共に福利を得べき日にて思ひ立ちし事は行ふて吉なり
▼七赤▲目上の引立に遇ふか但しは何事か嬉しきことのある日なり
▼八白▲親密を意味する日にて諸事意の如く行くべき日萬事に吉
▼九紫▲善き事を行へば必ず酬ゐのある日にして何ごとにも吉なり
▼一白▲ちよつと戸惑ひをする日
▼二黑▲物ごと好調子に行く日
▼三碧▲兎角世話苦勞の多き日
▼四緑▲親切を盡して無になる日

◎月やく

月やくとまり月經不順の爲食物胸につかへ時々嘔吐を催し腰足痛み下腹脹張り逆上頭痛冷性こしけ弱く顏色青白く何となく盡くの工合惡く色々他の藥を用ひても効なく心配の方は一私方へ遠慮なく出て下さい出來ぬ方は返信料添申込あれ害なく治療する妙藥を人助けの爲知らせます 東京市四谷信濃町電車停留場前 大阪北區曾根崎上二丁目四番地 月經專門藥 總發行所 濟田屋

處世上の及第と落第

人生は長き試驗の連續也 安じて試驗場に入るべし 茲に健腦強精の極法あり

●茲に二冊の治療書あり

人は生れし時より死する時迄常に間斷なく試されてゐるのである、試驗されてゐるのである而してそれに落第する者が失敗者となり、之を及第する者が成功者たり、常に小學校の試驗に見、中學、大學の、學卒業試驗、官省の人材登用試驗にも見る、大きくは大臣の施政に見る、國家の競爭に見る、皆一として試驗ならざるはない。大自然によつて行はる、淘汰試驗なのだ。而も此人生に及第すると落第するとは一に其人間の賢愚によつて別るゝのであつて才能の利鈍精神の健不健に歸するのであるが此事の根本が實に腦健康の如何にあるを思へば如何に健腦の事が大切であるかゞ解らう。殊に茲しばしば試驗氣候とも云ふべき各種の試驗のために多くの青年男女が苦しまなければならないが此苦心のためには健全なる頭腦を有する者さへ、神經衰弱を起す位であるから、日常腦神經衰弱をやつてゐる者などは、何うかすると再發して重症に陷る事さへある。然し其時に際し、若も『腦神經衰弱とヒステリー療法』と云ふ册子が、其册子に依つて救はれやう。此書こそ實にかの有名なる健腦劑レーベンの發見者醫學士常持錫治氏の著リーの治法』と共に此二册の治療書は、從來何十萬人の腦神經衰弱ヒステリー患者に無代頒布されて來たが今なほ續いて廣く希望者に無代贈呈されてゐるのである。

◎茲に諸博士の推奬あり

實に二冊の治療書は二六時中絶え間なく日本全國に向つて無代發送されてゐる。而も希望のハガキは一日も絶えない、以て如何に現代が多くの腦神經衰弱患者を有してゐるかが知れやう。此病氣は、世の文明が進んで社會組織が益々複雜となり生活が益々苦しくなつて、神經使用が過度に烈しくなるために起る病氣であつて、今や全世界の文明階級を侵犯してゐる時代病であり庶人病である。ために幾多個人の幸福が破壞され、家庭の平和が攪亂れるやうな事があつて、識者の間には重大なる社會問題となつてゐるのだ。即ち我が常持學士が苦心十年理想的健腦劑レーベンを發見したのも、動機はこゝに存するのであつて、岡田醫學博士を始めとして學士其他醫海諸大家がレーベンに對して責任ある證明或は推奬の辭を下したのも其ためである。レーベンは第一に米麥常食の日本人の體質に適應せる植物性劑たり、第二に腦の要素たるリンサンを多量に含有してゐる本劑に依つて救はれたる幾多の患者は、實に積極的なる賞讃者となつて、今や幾多の無効賣藥や山師藥を壓倒してゐるのである。常持醫學士は勿論、諸大家も說く通り、腦神經衰弱ヒステリーは、本人の知れぬ間にずん〳〵病勢が進めて了ふものであつて漸く身體の變調に氣付く頃には遂に重態に陷つて居るのである、で即ち茲に此症候のはしくを記して諸氏の反省を促す事とする

◎茲に無代價の提供あり

ちよつとしたことを忘れて困る人、斯る人は單に忘れつぽくて困る位に輕視してはいけない、夜床に就いてからなか〳〵眠れず、つまらぬ取越苦勞や妄想に追はれて二三時迄眼が冴ね漸く眠れば夢に襲はれて眼覺の寢汗をかいてゐるなぞの症候、之を眠藥なぞで無理に眠つても何にもならない根本的に神經衰弱を治すべきである、食慾で何か食べてもまづい、亦、眼が疲れ易くて何うかすると、すぐ涙がにじみ出たり、或は書物を讀んでゐても、二三行讀むとすぐ睡ぎ、眼がぱうとして、字畫が解らなくなつたり、意味も解らず空讀みしたり之れ皆腦神經衰弱ヒステリーの症候である。此病氣になると妙に氣短になつて些々たる事にも赫と腹を立てゝすぐ又其あとから後悔の念を起し、氣無精になつてすべき仕事もしたくなし、しなければならない訪問も厭になり、交際なども面倒くさくなる、仕事には飽き易く、やたらに眠氣がして事務中とか讀書中意味もなく、欠伸が出る、何うかすると立ち上る途端眩暈を感ずる、頭痛が時々くして我ながら不思議に思ふ程自信力が缺けてくる、記憶力が鈍くなる、わけもなく厭世悲觀に傾いて、多情なる詩歌文章を好むやうになるなぞ!斯くの如くんば何時の日か成功者たる事が出來やう、遂には廢人同樣となつて、社會の一隅に身の悲運を泣かねばならぬ事になる。斯る人は只速かにレーベンを服用して其健康を回復すべきである。藥價は三十錢、五十錢、八十五錢、一圓、一圓六十錢、三圓等で各地藥店にあり。レーベン用藥の如何に拘らず前記二冊の冶療書は、東京銀座弓町廿二弘濟院、中南定太郎。又は大阪市東區安土町堺筋同支店へ宛にハガキで申し込めば無代贈呈されるのである。遠慮なく速刻申込まれよ機は速かに逸し去るべし。

物價大暴落 少利と少產の逆襲!!! 金儲の最好機!!! 活動的商人!!!

縣下獨專代理店支配人招聘

月收五拾圓以上貳百圓 內外社會的公共大事業 物價暴落整理商品部の活動開始

特約專賣店募集

劒の戰は終を下したりと雖も平和の商戰たるを切つたのである果然一財界の變動は物價の大暴落を來し[illegible]

先生の許した女學生の唯一美容法は…

純白美乳 (ホワイトビニウ)

世にも優れた一滴の効果!

美しい〳〵と申しても學生の間は何んなお嬢樣でも十二分に人を魅するといふ譯には參りかねますものですがさて卒業期が近づくに伴れて氣になるのは外容美の點──併し人間の皮膚は如何に急に焦慮つても遽に色白の小町娘となることは出來ません、ですけれど茲にタッタ一つ日本に初めて出來た純白美乳の一滴をお試みになれば何んな性來の色黒の方でも三分と要らぬうちに生地からの白色美人となり幸福な結婚、幸福な家庭の人となられた方が實例太だ多く今や若夫人、令嬢間に純白美乳でなければならぬと湧くが如き高評、女學校の先生方も女學生の唯一美容法として純白美乳を激賞してゐらつしやいます

僅か一滴で美人となる 試驗はタッター週間!

優等清酒

京城永樂町一丁目 本莊酒店 電話六五四番
仁川京町 本莊支店 電話二六番
安東縣大和橋通 本莊支店 電話一一七番

診察時間

自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

MITSUWA GINSENG WINE.

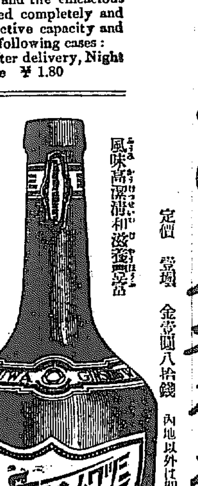
Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

◎ミツワ人參葡萄酒

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の強壯を謀り尙新活力を賦與し得べき みつわ・にんじんぶどうしゅ

定價 壹壜 金壹圓八拾錢 内地以外は關稅運賃を加ふ

風味高潔溫和滋養豐富 元氣增進興奮作用優秀



本品は科學的研究を經て、効力卓絕なりと認められたる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に融合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして澄爽、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を增進せしめ、營養の佳良並に身體の強壯を圖る上に於て精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、尙健者に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる效果あり。本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は強壯料ミツワ人參葡萄酒を用ふべし

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增したい人
一、身體を強壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を願ふ人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、不快な感覺や苦痛を忘れたい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、營養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉強又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の疲労ゐて居る人
一、貧血して居る人
一、顏色冴ず血色の無い人
一、手足や腰腹が冷ねて困る人
一、つかれぬ人
一、些細の事に氣に懸る人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神萎靡時々氣力を失ふ人
一、陰痿遺精など生殖器の衰弱に悩んで居る人

發賣品目錄御申越次第送呈
ミツワ石鹼本舖 東京日本橋區橘町 丸見屋商店

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00
This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

◎ミツワ人參錠

酒井醫學博士の實驗的研究に根基せろ みつわにんじんちやう

主効 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

醫學博士酒井和太郎氏はミツワ化學研究所に在つて殊に人參を實驗的に研究し、鎭靜、催眠、利尿、興奮、強壯等の諸作用を呈することを證明せり、ミツワ人參錠は同博士の研究を基礎とし合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、是等の疾患に發現する諸症候、卽ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、注意不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、逆上、潮熱、陰痿等に對して偉効を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫其他の苦惱を除き、分娩前後及び諸種疾患に因る貧血並に榮養不良を回復し又精力減退卽ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし意氣を旺盛ならしめ老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

定價 百錠入 金五拾錢 五百錠入 金貳圓 内地以外は關稅運賃を加ふ

◎ミツワ人參錠適應諸症候

一、頭が重く或は痛く頭の內が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて耳鳴りなる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、堅苦しく因い夢を見たりする人
一、些細の事を氣に掛ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、精神の鬱々とする人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へる事の出來ぬ人
一、物事の理非判斷出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、雜念頻りに起り氣注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、疲勞や過勞で悲觀する人
一、腎臟病に苦しむ人
一、產前產後又病後の衰弱を防ぎたい人
一、精力を強くしたい人

汽車發着 京釜線(南行) 同(北行) 京義線(南行) 同(北行) 湖南線 京元線 京仁線(仁川行) 同(京城行) [illegible]

京城日報
第五版

［illegible］三百萬九千餘圓にして之を前年同……紙、綿絲布、石油、精米等何れも增加し……綿絲入に在りては生金巾及び生シ……ーチング洋紙砂糖等減退したるも……粟小麥粉胡麻子等……日本木綿小……は一百三十六石一萬千五百餘圓の增加なり昨今相場の不引合により支那輸出杜絶したりと雖も内地に於ける供給不足及市價昂騰の爲め……に由るものにして右の外……

▲重石鑛　移出額二百二十餘圓にして前年同月に比し一萬七千餘圓を增加せ……を要するに於ては多大の減退を見込まざるべからず且到着少く相場も不引合

▲牛皮　移出額六……圓にして前月に比し三萬八千……金額を減じ……乾燥不十分の品多く輸送に長時日……

▲粟　……輸入額一萬七千餘圓にて前月に比し……の增加をなし各年十一月より輸送困難となり本年……に入り依然として……荷物の入荷渉……

支那鐵道管理問題と聯盟

東京　一寄書家

支那の全鐵道を國際管理に委せんとする問題は當に支那に取りて北方の國の死活問題たるに止らず東亞平和の天職を負へる日本に取りても其の利害の關する所亦重大なりと謂はざる可からず、吾人は茲に一言して日支兩國政府の注意を乞はざる可からず。

吾人の聞く所に據れば講和會議に於ける支那の全鐵道を國際管理に委するは米國委員と支那委員との交渉の結果正式に支那全鐵道國際管理案を五大國委員會議に提出し既に設米設共に例外無く國際聯盟の問題提出案の内容は支那の全鐵道を管理に附し米、英、日、支の選出委員をして之れが實際的管理に當らしむこするものにして英國は委員二十二名、米國は二十名、支那は十三名、日本は九名を出して管理委員會を組織する原案なりと云ふも此提議は交通總長曹汝霖の企てと知らざる所にして梁啓超等の企圖に出でたりと云ふに於て吾人は一層奇怪の感なき能はざる也。

東亞問題は東亞民族をして之を裁決せしむべし支那の問題は支那をして之を裁決せしむるを以て今日の所謂民族自決主義の原則と爲す、支那民族にして自家の問題を裁決する能はざる場合は姑く置き彼の鐵道の如き國家の命脈に關する問題をして彼の基礎未定なる國際聯盟の下に管理せしむるは支那自ら鐵道の統一管理權を棄つるに等しきものにして決して支那の保全を期する所以にあらず而して支那の親米派の愚、爰に到らず、米國策士の術中に陥り彼の夷を以て夷を制するの故智を要はむとすらは是れ豈支那をして列國組上の肉たらしむる所以に非ずして何ぞや然れども支那民族中愛國の士なきに非ず、親米派たる周自齊、熊希齢、汪大燮等の鐵道國際管理論に對して梁士詒、曹汝霖等が極力之に反對する亦故ありと謂ふべし、而して我が小幡公使が該問題に關して支那政府に忠告したりと云へるは其の内容如何未だ知る可からずと雖も日支親善の大計より云ふも東亞平和の大局より云ふも帝國の誠意を披瀝して支那政府の注意を促したるの當を得たるを認めざる可からず、吾人は支那政府並に其民族の國家的自覺を望むや切なざる能はざる也

日本の誠意諒解

南北和平會議對段派

南方總代表唐紹儀氏は二十三日の和平會議總會議に於て北京政府の國防軍編成計畫に反對し之れに關連して參戰借款及び軍器契約の中止及び二月十三日國務會議にて決定せる七分利附民國八年内國公債四千萬元募集計畫の中止等を要求せるが之に對し國務總理錢能訓氏は拒絶的返電を致せるを以て南北和平會議は斷裂の虞あるに立ち到れりとの報あり本問題に關し南方總代表

△唐紹儀氏　の意嚮として傳へらるゝ所に依れば先づ參戰借款の停止及び武器引渡の停止を行ふに非ずんば和平會議は北方武斷派の抑壓を感ぜざるを得ず假に徐大總統に於て惡意を有せずとするも元來南北妥協に就き異論を有する段祺瑞氏等の武斷派は武器借款及び參戰借款に依り國防軍の計畫を進め將來南方壓迫を敢てするに相違無し此の雰圍氣のみにても和平會議進捗に對し大なる障碍を爲すものと云はざるを得ず況んや日本の意嚮は支那全國民の希望達成に對し出來得る限り援助すべしとの根本方針に依り和平會議の促進を熱望し（第二）武器の供給に就ては南北和平組合と參戰督辦處との間に締結されたる賣買契約成立せるにも拘らず日本政府より特に南北和平組合に對し支那南北和平の成立する迄一時武器の引渡を中止する樣注意し南北和平組合は右の趣を北京政府に通告せりと云ふ（第三）

△參戰借款　は既に日本興業、朝鮮、臺灣三銀行より全部支那政府に引渡し濟みとなり現に支那政府の名義にて北京中華滙業銀行に預入しあるにも拘らず日本政府に於ては元來日本より貸付けたる其資金が支那の和平進捗の障碍を爲すに至らんかを虞れ三銀行をして北京政府に對し北京政府が眞に和平を望むものなるに於ては南北和平成立迄右資金を滙業銀行より引出さゞることを至當なりと云へること忠告せしむる等種々配慮し居れり又國防軍計畫に就ても日本の意嚮は若し支那自身が參戰軍の編成を見合すを以て可なりとする場合に於ては假令多少日支軍事の條項に抵觸すとも日本に於ては異存なしと云ふにあり事情斯の如くなるにも拘らず段祺瑞氏等の武斷派は只管自家勢力の維持より算出し徐大總統の意思に反して迄も參戰軍の編成に熱中しつゝあるは不都合千萬と云はざるを得ず況んや西伯利の形勢は緩和され支那としては國防軍の編成を急ぐの要なかるべく此際國内の和平を策せしむべしとなし此程北京政府に對し前掲の如く要求せるものなり

△北京政府　は一面小幡公使に對し二十一日國防軍は決して南方討伐に使用せず故に參戰借款、軍器契約に付日本政府に對し何等迷惑を掛けずべしと通告すると同時に北方總代表として上海會議に列席せる朱啓鈐氏に錢能訓氏の名を以て唐紹儀氏に對し拒絶的回答を與へ次第也尚本問題に付き上海地方に於ける輿論は頗る激昂し和平會議の進捗に支障を來す其責は日本にも非ざるは勿論徐大總統にも非ず正に段派にありとなし支那新聞紙は一齊に段派攻撃を開始せり

春光　‖西門外にて‖　古賀莆雄筆

財界の新舊人（46）

西海生

韓相龍君（上）

漢城銀行專務

一鶏群の鶴なるかな語を聊か過褒とすも、漢城銀行の專務韓相龍君は、現勢を解する新時代の銀行家として、半島財界に於ける鮮人實業家中の第一人者である、その知識に於ても、その手腕に於ても、又その識見を内地人と云ひ得る程の發達した常識に於ても、君は實によく出來た人物と稱して差支へない

▲漢銀の專務及東洋拓殖會社の理事として、君の盛名は隨分久しく内地にも朝鮮にも知れ渡つてゐる然も尚は年齡漸く三十九歳の壯者と聞いては、その早熟夙成を異とせざるを得ない、老人の跋扈は内地各界に於ける通弊と稱せらるゝが、朝鮮人間では因襲の久しきだけ老益重の風習は内地以上である、然もその朝鮮人の間に於て君が十餘年以前乃ち二十代から殆ど鮮人實業家を事實に於て代表せる力を示せるは、そこに色々な關係があつても、君の傑出せる手腕と識見を、君の反對者と雖も否認する譯には行かないであらう

▲前總督の寺内伯は韓國統監として又朝鮮總督として、前後八年の久しき間漢城に駐まつたが、其間鮮人の私邸を訪問せるは獨り李完用と君の宅のみであつたと云ひ、君のために箔をつける者もある、これは或る意味に於ける君の勢力の發現しあらう、前大臣や又前大官や陸海の將官や、有力實業家やが京城を訪へば、大抵君の私宅に一夕を過ごし朝鮮料理に舌鼓を打つべく餘儀なくされる、斯様な方面に於ける君の手腕は偉いと云ふより寧ろ驚くべきものがある、殿格な几帳面な寺内伯から、終始愛顧を受けてゐた所より見るも、如何に君が格勤精勵な人かと云ふ事を知らる、同時に大官名士に巧に取入つて行く君の技倆は超凡な點がある

▲君は京城の生れ、李完用伯や韓昌洙男と血族關係を有してゐる、明治三十一年から三年まで東京に留學したが、格別金融經濟の方を專攻したとは思はれない、歸鮮後漢城銀行前身の右總辦として關係してゐたが、四十年には廿八歳の白面の青年を以て、朝鮮人側の商業會議所會頭に擧げられてゐる、恐らく二十八歳の會議所會頭は古今東西にその例を多く見出す事は出來まい、左樣な關係や人物と云ふ所より君は朝鮮銀行や東洋拓殖の設立委員ともなり、東拓には無任所ではあるけれど、理事として一昨年に及んでゐる、四十三年日韓併合後漢城銀行を膨大せしめ、君は專務の椅子に就てた、時に年齒漸く三十歳である

五色饅頭

川柳でも狂句でも『どちらでも、好いでは無いか、どいふ議論は同じやうな物だから味噌でも糞でもどちらでも好いでは無いか』と論するやうなものだ、ごちらも東洋にあるから支那でも日本でも名は構はないではないか、どいふやうなものだ、味噌を糞と呼んだら誰も口へは入れまい、日本を支那と稱して、第一國民が承知をするか、我々の扱ふ新川柳の川柳は絶對物だ、決して宗旨ちがひの狂句を以て稱することを許さない、狂句と云つても、芭蕉だ木枯の身は竹齋に似たるかなを狂句と呼んだアノ狂句とはちがふ、狂句とは狂詩或は狂歌と云ふ狂詩に對する狂詩、俳句に對する狂句と云ふやうに一段も二段も下つた名だ、云は〻擬物と云ふ意味もある名だ、以ての外で、我川柳は決して俳句の擬物では無い、寧ろ俳句以上の物だ、俳人蓮花庵秋劍の劍花坊はソレを斷言することが出來る。

雜詛抄

◆赤小豆の効能◆　赤小豆は先づ第一に通じて良くする又一方に於ては利尿の効がある から脚氣や腎臓病には抵治療てアる、古來赤小豆は脚氣に効ありと言はれてゐるのは、便通を宜くするからである、又婦人にして乳汁の不良な人は、毎日三回づゝ小豆の煮汁（砂糖と鹽で味つけて）一回に五勺乃至一合位飲用すれば、數日ならずして乳汁は通ずる、尚腎臓其他の疾患で水腫のある人々は鯉か鮒と赤小豆と一緒に煮て食へば、浮腫は忽ちにして退くのである、其他赤小豆は血行を促し腸滿吐逆等を治し、氣を治じ脾胃を健かにする効がある（食物の養生）

株式
△　橋商會
東京市日本橋區兜町四十八番地
公債株式現物問屋
現物殊に定期
建株以外の株式
御投資又は御處
理の節は是非共
完備したる弊店
の地方部を御利
用被下度願上候
電話浪花（長）三九〇六番
四八七八番
特（長）一六七四番
振替東京四八七五番（三七）又ハ（二八）
◎營業案内及橋日報
御申越次第送呈◎

測量員速成講習錄
官衙及工業界に最も需用多く最も有望なるは測量技師とす本校は速成三ヶ月修了講習生を募集す　校則無代進呈
東京市京橋區南傳馬町二丁目　通信工學校

拜啓益御清榮慶賀の至に奉存候陳者弊店儀創業以來格別の御愛顧を辱うし感謝に不耐候就ては今般時代の趨勢に鑑る所有之先輩知友の賛助を得朝鮮土地經營株式會社を設立し大正八年三月一日より弊店貸家部並に火災保險代理業を同社に讓渡する事に致候に付き舊に倍し御引立を蒙り度此段御願申上候　敬具
大正八年三月一日
京城府南大門通五丁目五十九番地
三好和三商店
店主　三好和三郎

謹啓愈々御繁榮奉賀候陳者今般朝鮮土地經營株式會社を設立し三好和商店經營に係る貸家部並に火災保險代理業を繼承致し大正八年三月一日より開業仕候間何卒御眷顧を賜り度奉願上候右御披露旁々御依賴申上度如斯に御座候
大正八年三月一日
京城南大門通五丁目五十九番地
朝鮮土地經營株式會社
社長　吉田秀次郎
專務取締役　三好和三郎

私立女子美術學校　生徒募集
裁縫科●日本畫科●西洋畫科●刺繡科●造花科●編物科●刺繡及造花科●裁縫科卒業生は無試驗檢定の特典あり●高等師範科卒業生は裁縫及手藝に就き中等教員受驗資格あり
●新學年四月九日開始●設備完全なる寄宿舍あり
規則書希望の向は申込あれ
東京市本郷區菊坂町

古本と古樂器買入
電話二七二番　ウツボヤ書籍店

來三月三日
故李太王殿下
國葬御當日ニ付
謹テ臨時休業仕候
三月一日
京城
三越呉服店

△生徒募集
京城鍾路五丁目　私立朝鮮樂學校
内鮮人男女六十名　願書受付四月十五日限　入學試驗四月二十日

應用自在　好評　忽ち四版
手紙文庫
▼ごんな手紙でも頭を痛めず即座に書ける▼
苦心の大著　全四冊完成
本文庫は青山高明先生の心血を傾到して完成せし苦心の大著にして全四巻に別ち各巻を更に月別とし月々に必要な用語、文例を漏れなく集め其數實に一千三百餘種に達し恐しい手紙に嬉しい手紙、……な手紙に叙

文に……、……懇想、見舞、通知、誘引、照會、依頼、謝禮、催促、招待、贈答文に到る迄本文中に……あれば頭を痛めず即座に書き得るは本書の特價……
◆特價　本書の各巻は……一冊特價一圓五拾錢……
◆代金前金……切手代用は一割増……
振替東京四八六〇一六番　東京市青山南町六ノ一三　手紙文庫刊行會

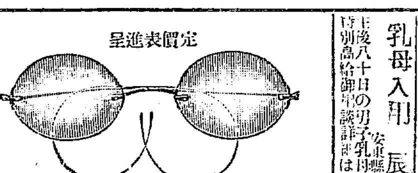
△△朝鮮名物▽▽
金剛飴
京城本町　電話二七四五番　龜屋

書翰文用語集　一冊無代　添付進呈

社員ニ告グ
三月一日國葬儀ニ際シ社員會員ハ一日午前十時ヨリ京城府館前ニ集合セラルベシ
此段廣告候也
日本赤十字社
愛國婦人會　朝鮮本部
廣告

乳母入用　辰巳樓
生後八十日の男子乳母至急雇入れたし
特別高給御望ニ應ズ詳細は御面談の上

積極的下ケ詳細ハ三月一日ヨリ三日間ノ官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府勸業模範場



定價表進呈
中村眼鏡店
京城本町
電話……七番●振替京城三四六

スワン萬年筆

登録商標
富士印ぬいめなし蚊帳
滿鮮一手販賣
蚊帳
製綿
麻布
夜具地
真綿
卸問屋
大阪安土町三
山本佐七商店
大阪綿業會社
特約店

新時代
言論界の權威
雜誌中の雜誌
毎月一日一回發行
三月號
定價……

新歐洲の經濟觀　阿部秀助
時代大觀　國際聯盟の價値批判……吾等の信條は世界の人格化……普通選擧の勢（杉中……）
我國道德思想改造の急務　大島正德
悽慘たる教育界の絶叫
赤裸々の告白　池崎直孝
見捨られたる教育界　奥謝漁郎
俳句を愛する心より　臼田亞浪
春三十句掲げて　尾上柴舟　鼠子
本誌獨特の人物論
記者出身の大藏卿　大鐵貞吉
文藝批評界の三星　平林初之輔
制裁事總まぐり　高杉杏園
京大文科大學の印象　洛東山人
農村の新人物　小林橘川
古河王國の新人物 巴川一昇
第一銀行の幹部　林源一
日本勸業銀行の首腦　同
第一生命の人物　日向生
文展洋畫部の審査員　坂井犀水
商業の人物と最近端……　山浦瑞洲
歌舞伎座の役者衆　双面の男

現代日本を生命づけるは如何なる政治乎
◆要急決定を要する政策　植原悦二郎
◆日本的士氣の鼓吹　中村啓次郎
◆氣を揉むは不幸の首目　關和知
◆新思想の横流と政治の要務　神小路……
◆平凡なる學説なる政治を　永野博士
◆自己の問題は自ら處理せ　澤柳博士
◆政黨の改造と内閣の擁護　堀川美哉
◆君民同治　高田博士
◆民本的政治を　松田源治
◆政治上の総動員　鎌田栄吉
◆至誠奉公の一念
◆普通選擧にまで　上司小剣
◆民本的軍國主義
◆全人格的自覺　鳥居……三郎

信仰の矢叫び
推尾辨匡　内村鑑三
渡邊海旭　内崎作三郎
金森通倫　波多野傳三郎

三月漫畫　池部鈞
學界風聞錄　碌雪
文壇無駄話　池部鈞
法曹界夜話
新刊紹介其他

前號の人物と思潮　宮田修　田川大吉郎
阿部秀助　上杉慎吉　若宮卯之助
吉野作造　大山郁夫　堀内文次郎
尾崎行雄　今井嘉幸　長島隆二
日置默仙
此の一事を念頭に

小説　壁畫　三上於菟吉
小説　里の夜道　長谷川時雨
小説　白隱と了徹　中谷徳太郎
驚異の大寫樂　野口米次郎

新聞界の紛訌　東京の販賣策…東日の通信
社會部記者の活動振り
東京芝區……　新時代社

東健而の滑稽小說

東健而と云ふのは一體何樣云ふ人だいとは近頃文士や記者の寄集りで必ず發せられる質問です其筆つきの輕妙で皮肉と諧謔の縱横自在な事全く以て驚くべき程で一部の人達は某大家が匿名で書いてるのではないかと怪んだ位です。其の東君が『新家庭』の三月號へ「ワイフの爲めに」と云ふのを寄せました一行一句笑はずには居られない面白いものです

第四十一回帝國議會

貴族院豫算總會(第六分科會)

朝鮮關税撤廢問題=馬匹增殖獎勵=緬羊飼育=水利組合築港

(前號續き)午後一時再開、藤田四郎氏起立近く朝鮮の關税撤廢さるれば内地同樣の關税を課する事となるべきや鈴木政府委員(度支部長官)内鮮間の關税は撤廢さるゝと同時に内地同樣の關税を課すや否やに就いては考へものなり其理由は朝鮮は内地と其經濟狀態を異にする爲めなりと答へ更に藤田氏は酒税に就き佐竹準男は地田調査に就き質問し鈴木政府委員之れに應答し佐竹男の質問に對し鈴木政府委員馬匹增殖獎勵は大正八年度より實施すべく緬羊は從來蒙古より輸入しつゝあり目下其飼育法研究中也尙又牛の增殖をも計り居れりと答へ次に藤田氏は阿片、水利組合、仁川築港に就き佐竹男は清津築港に就き質問し鈴木政府委員の答辯ありて之にて質問を終了散會す(東京特電)

◇賠償意見不一致

日米方針一致=英佛範圍擴大

講和會議は夙に賠償問題に關し分科會を開き同分科會に於て獨逸の負擔し得る賠償力を調査しつゝあること旣報の如し尙二十四日路透電報は佛國外相ビション氏が英米新聞記者に對し獨逸よりの賠償問題に就ては先づ獨逸の有らゆる株券全部を徵したる後獨逸の支拂ひ得べき額幾何なりやを明確に知ること最も必要にして然る後聯合國は獨逸に對し幾何を要求し得らるかを定め得るものなりと述べたり而して獨逸の負擔力を調査する一方聯合國は各々其の要求する事項を最高委員會に向け申立つゝあり日本の要求は米國の方針と同樣戰爭に依りて受けたる直接損害に限定さるべきが之に對し英佛は一層其範圍を擴大し間接の損害をも要求せんことを主張し日米と英佛との間に今尙ほ意見の一致を見る能はず去れば賠償の根本原則を決定する迄には尙ほ多少の時日を要すべしと(東京特電)

◇日本損害額調査

牧野委員の手許に通達

講和分科會中各種の特殊委員會は各々開會され賠償委員會も二十日より開會我委員を始め米佛伊各國委員何れも其意見を開陳する所ありしが同問題に關し我國の要求するところは敵潜水艇に依つて擊沈されたる私有財産に屬する商船、載荷、船舶の擊沈に伴ふ乘員乘客の私有財産等重なるものなるが之に關しては旣に調査を了し擊沈商船常陸丸以外二十六隻十一萬四百五十噸、觸雷沈沒と認めたるもの千勝丸以下五隻一萬三千九百五十噸に對する損害約三億五千萬圓を計上し(人命損害は全部除外)牧野委員の手許に通達しありと(東京特電)

◇領事裁判撤廢問題

支那政府は領事裁判撤廢問題を巴里會議に提出すべく過般來諸方面よりの意見を徵し專ら準備中なるが外交部局の談に依れば右は事實なり但し時機尙早しと云ふ者あらんも是は外交顧問の招聘に依り何れとも得し得ることならんとて撤廢の決心を爲し居れりと(北京電報)

◇陸鐵道管理反對

陸徵祥氏は此程政府に對して密電を發し支那鐵道國際管理案に反對の意見を述べたり其理由とする所は假令國際管理となるも各國の勢力範圍は依然として存在すべく却つて共同の名を以て其範圍を擴げんとするに過ぎず且つ斯かる問題は如何にして外債を償還すべきかの計畫を定めたる後解決すべきものなりと(北京電報)

◇講和會議公報

外務省發表講和會議公報=聯問題及び聯合國代表は二月廿四日午後三時より同五時迄ケードルセイに會合しアルバニアの代表者を招致したりしが右代表者中のチュルカム、パシャはアルバニアの要求を説明する所あり結局本問題の考査は之を希臘問題委員會に附託するに決せり在巴里波蘭問題委員會は目下ワルソウに在る聯合國派遣委員より接受せる情報及び提案に就き商議を重ねホッシュ元帥も亦同委員會に列席したり(東京特電)

◎鐵道炭成約 大部分は決定

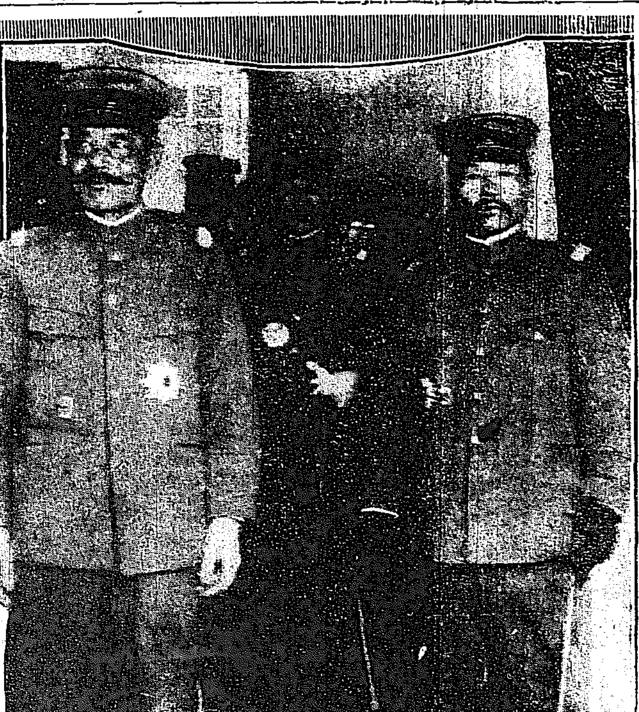
…に於ける鐵道院石炭購入契約は三井系の百萬噸三菱の五十五萬噸なるが貝生、安川、村井も略決定せり此外中村組の四十五萬噸も決定さるゝ程なるや未だ確知し得ずと雖も山下其他交渉中のもの及び其他の狀況より察するに原價高を主張し…の妥協の出來ざるものゝ如く中旬までには全部成立さる可く之が成行如何は市場一般の注目を惹き居れり(東京)

双株式特電

新	一〇一、三〇
日本郵船	一九三、五〇
東洋汽船	九六、五〇
東株新	二〇三、八〇
大阪新	一八三、五〇

下關期米

(二十八日 三月限 前場 後場)
[illegible]


廿八日夜入城の兩將軍(向つて左より)秋山大將、白水中將=南大門驛にて

◇ヒ氏賠償主張

ヒユース氏は講和會議に於て戰費の賠償を主張せり(巴里電報)

◇我武官へ贈勳

=米國勳章制定=

歐洲戰爭に就き米國にては今回三種の勳章を制定し其内有功勳章を大統領の名に依り外國武官十一名に授與せるが今回我武官…大將及び前駐華盛頓大使館附武官永谷少佐に對し米國大使館を經て傳達せられたり(東京特電)

◇ウ氏華盛頓到着

ウイルソン氏は二十五日無事華盛頓に到着せり(紐育電報)

◇西貢米輸出許可

廿七日在西貢帝國名譽領事より外務省への電報に據れば西貢政廳は日本に對し本年五月迄西貢米を毎月六萬噸(四十二萬石)宛輸出を許可する事と成りたり(東京特電)

◇在留邦人退去命令

直隷省唐山(開平炭坑所在地)に於ける在留日本人全部は廿五日支那官憲より即刻退去命令を受けたりとの報あり(天津電報)

▽別報

唐山居住日本人はモルヒネ取扱嫌疑に因り米兵の爲め家宅搜索を受け且つ支那官憲より日本人全部(約三十名)二十五日退去を命ぜらる其の裡面には米の尻押あるもの如し(北京電報)

◇張督軍免職決議

二十六日の第二回和平會議に於て陝西問題は張督軍を免職せざれば問題の解決不可能となれり尚二十六日朱啓鈐氏は唐紹儀氏と會見し愈張敬堯氏を免職するに決せり要するに段派側徐總統と錢總理を壓迫せる結果徐錢兩氏の命令陝西に行はれず段の背後に日本あり參戰借款に關係ありとて南方の態度强硬なるが北方代表も之れに同情し或ひは北京に政變あるの虞れあり(北京電報)

◇長春に公署設置

奉天張巡閱使は今回長春に吉林公署を設置する事となり奉天公署顧問張惣氏來任の旨孟督軍は之が準備の爲め要鎮守使に命じ來あり(長春特電)

◇英國代理大使

西園駐在英國代理大使オルストン氏は今回東京駐在を命ぜられ二十七日夜來長二十八日朝直に南下せしが途中北京に立寄り赴任の筈(長春特電)

◇獸醫學校修業式

京城府下南山ヶ谷陸軍獸醫學校にては二十七日午前十時より修業式を擧行し優等生一名に對し田中陸相より賞品銀時計一個を贈與したり(東京特電)

◇朝鮮電氣興業發起人會

朝鮮電氣興業株式會社創立に關する發起人會は二十八日正午より築地精養軒に於て開會、株式の引受は總て發起人及び贊成人にて一萬株以上に達せるも特に一萬五千株は公募を爲すと議決し東拓會社内に創立事務所を置き同社理事…を發起人總代として株式募集其他創立事務を開始する筈なり(東京特電)

◇田中伯問題

形勢益々不穩

貴族院に於ける田中光顯伯問題は今尙鎭靜せず風教問題として建議案の形式により政府の責任を問はんとする形勢に立ち至れるが問題に對しては政府も研究會も頗る窮境に陷り結局臨時帝室編修局を文部省維新史料編纂局に合併せんとの内意あり右實現の曉は田中伯の總裁は自然消滅となり又史料編纂局も帝室編修局も性質に於て同一なれば結局之にて落着す可しと觀測するものあり(東京特電)

◎朝鮮と諸問題

拓殖局長官 古賀廉造博士談

拓殖局長官古賀廉造博士は近頃朝鮮には始政五年共進會の折渡鮮して以來やつて來て十日ばかり故國の舍宅にゴロついてゐた、當時から見ると一體によく開けて來たやうに思ふ

▲鮮米と内地

此頃八釜しいのは米の問題である、朝鮮米も昨年十一月以降彼是れ百萬石は移入されてゐるが尙ほ二百萬石は移出餘力を存せりと余等は觀測してゐる此頃鮮内は思惑熱のため米價内地に比し騰高を暴してゐたから投機心から米價の大勢を無視しくするは宜しからず官民有識者は大いに心せねばならぬ、又世上鮮米移出制限と云ふ如き説も折々傳はるけれど一體日鮮併合同一經濟家となつてゐる今日内鮮間に於て移出制限の如き政策を斷行するのは面白からず、予等は鮮米の輸出制限はやつてもやらないでも同じ事であつた、乃ち七年度米の移出餘力約九十萬石は殆んど内地に移出され盡してゐるからである、從つて禁輸をせなくても旣に移出の餘力はないのである

▲朝鮮簡保案

朝鮮から今年出された議會提案は殆んど全部通過してゐる、簡易生命保險の如きは極めて必要の施設と思ふ、中央政府に朝鮮簡保の高見ありとの説は事實であるまい、予等は朝鮮當局より何等簡保案に就て聞く所がない、關係…が出れば大に贊成するのである、朝鮮郵便貯金の現在額は僅に一千三百萬圓之れを内地の一箇月間に於ける增加額に比するも尙ほ少いのである、之れは朝鮮人に資力乏しきも一因だらうが主要理由は預入と拂出もせめ難い貯金あるためと云はねばならぬ、果して然りとすれば簡易生命保險の如き拂込を請求する一種の貯金制をとる事は經世濟民上極めて必要の事であるまいか、中央政府の尙早意見よりも寧ろ鮮内に於て尙早意見があるのではないか

▲拓殖務省

拓殖務省設置の聲を問へば僕の遞相を指し如何を問へば僕の遞相を指し田さん譯が龍力せぬと出來ぬと斷言し、何れ必要の時期あるべしと殊に南洋群島の管理を講和會議の結果日本の掌握に收むる事となれば同島の數のみにて六百有餘をば算するに付此の多數島の施政、予の上より見るも一省の必要はあるだらう、又左樣の曉には面積よ…

▲朝鮮と開墾

開墾助成金の如き法は新聞にも出てゐるやうに内地のみに實施し植民地には及ばないことなつてゐる、これ朝鮮の如きは國有未墾地貸下規則のあるあり他に開墾助成による拓開の必要なきではない、唯未墾地貸下の料金なり如何にせよと云ふ議論が議會にも現はれてゐる、然し且にする事は如何なものか、されば權利家の利權獲得を主とする拂下出願を…るに至るべく弊害の續出なしと云ふべからず、然し乍ら現行料金なり更に引下ぐる事は考慮の餘地ありと考へらる

◎列車中の兩將軍

寡言の秋山大將=白水中將の諧謔

葬儀參列の爲め軍事參議官秋山大將及び下關要塞司令官白水中將は廿八日夜九時十分南大門着列車にて入城した、記者は車中に入らんとし驛に迎へて展望車の中に兩將軍は加藤副官と三人で車を圍んで談笑中であつた、秋山大將は寡言を以て知られた人、默々としてソファに倚り作ら『京城も暫く見なんだが大分變つちよるぢやらう』とか『兩宮殿下の御着は…』とか『大興は何人位で撮影だらう』とか『京城には地方人が入り込んでゐるのかね』とかほつりほつりと記者に質問の矢を放つては煙草を吹かす、白水中將は

◇打解けた

態度で『京江の氷は如何だ未だ解けないか』『國葬日には降らねばいゝがな』と云つて『雨降らば降れ風吹かば吹け…』、タイミー寸九州の訛で交ら、更に故李太王殿下の御に入れた兩將軍は顧みて『何時か我等は殿下の御招きを受けて石造殿に參上した時は御馳走も多かつたが殿下の

◇應待振

りにも感心したつけなア』と云ひ更に口を合せて『李太王殿下は立派な王侯の容貌ぢやつたなア』と回顧する、南大門驛には在京の將官を始め將星の一團…秋山大將は自動車にて朝鮮ホテルへ白水中將は馬車を驅りて朝倉外茂方に入つた

◎藤田中佐の談

近衞師團を代表して國葬に列すべき藤田鴻助中佐は谷干城將軍の息谷中尉と共に秋山白水兩將軍と同列車にて入城龍山驛に下車せるが車中記者に對し『私は今度六年目の渡鮮だから大分京城も變つて居るだらう』と語り廿七日本紙掲載東京支局發の同中佐の談話と略同樣の意見を述べ滯京中は工藤…課長宅に投宿する筈なりと語れり

◎組合銀行休業

京城組合銀行にては來る三日の李太王國葬儀當日弔意を表するため休業する事に決定したり

◎咸北社設立認可

株式會社咸北社は曩に設立認可申請中なりしが二十二日附其筋より許可ありたるが同社は資本金二十萬圓…

◎湖西銀行增資

株式會社湖西銀行は從來資本金三十萬圓なりしが今回百萬圓に增額し本日二十四日附其筋より認可の指令ありたり

人事消息

▲秋山陸軍大將 廿八日夜入城朝鮮ホテルへ
▲兒玉 …納豊三郎氏(鮮銀副總裁) 二十八日夜歸城す
▲鶴島聰治氏(鮮銀檢査役) 夫人同伴同夜歸城
▲…竹非氏(平壤覆審法院檢事長) 同 天眞樓へ
▲吉木又七氏(全南道長官) 同
▲島田虎也太氏(平壤覆審法院長) 同 妙香へ
▲黑岩伴太郎氏(農商務省農務課長) 同
▲鮒越次郎氏(大邱覆審法院長) 同 不知火へ
▲柳原八司氏(忠南道長官) 同上
▲鈴木隆氏(慶北道長官) 同上
▲牧野菊之助氏(東京地方裁判所長) 同 山本へ
▲新山… 一氏(司法省參事官) 同上
▲上林敬次郎氏(咸北道長官) 同上
▲瀧谷元良氏(忠南第一部長) 同上
▲菱田發民氏(咸南第一部長) 同上
▲三好清太郎氏(遼東新報記者) 同朝退城 廿八日夜入城

鳥瞰錄

平和の天使お株を米國大統領に奪はれた羅馬法王はヴァチカン宮殿にウイルソン君の來訪を受けて恐悦斜ならず▲ウ君を使徒ポーロに比して『彼は此戰爭が生んだ最大偉人である二十世紀は之をウイルソン世紀と改稱すべし』と云つて居る▲羅馬法王さんは何うかして御座りはせぬかなロイド、ジョージ君やクレマンソー君は苦笑ひをして居るのだらう▲改稱と云へば新しい好きの米國ではパナマ運河をローズヴェルト運河と改稱したいと云つて運動を始めて居る知事さんもある▲其の改稱の理由は巴奈馬運河開鑿に對しローズヴェルト君の偉功を永久に記念する爲だと云ふ▲此の向きで行くと山や河やら種々のものに人名が附せられて後世は人の名やら何やら判らなくなる▲烏渡した處でローズヴェルト運河が阿弗利加で虎狩をやつたり平和の天使ウイルソン世紀に大戰爭が勃發したりする事になつて洵に千古變なものだ▲其れで無くてもついする生きて居る人間が死んだ人間と間違へらるゝ事さへある世の中だ▲と云ふのは寺崎廣業畫伯が死んだ時臨澤博士の出向き先へ留守宅から電話がかゝつて矢作博士が死んだと知らせて來た▲臨澤博士は居合はせた人々に知らせて一同餘りの突然に驚いて早速弔問に出かけた▲泣は好かつたが矢作博士はピンピンして居て弔問客にハテ吾輩が死んださイヤ此の通りピンピンして居るからまだ生きて居る積りだと手足を盛んに動かせて見せた▲其處で一同之や幽靈ぢやあるまいかと話て見ると矢張り矢作博士ではて大笑ひ▲此の喜劇の作者は臨澤博士宅の女中が寺崎と矢作を聞き違へたからであつたさうか▲間違ひも斯う間違つたら好い譯だ間違はなかつたら死んで居るからナァ御爺々々

◎橘五絃琵琶教授 教授日月水金五絃 火木土四絃 但速成御志望の方は… 京城初音町八七法昌山 本多旭映(永樂町二丁目…方玉非)

◎銅材木買卸 約三萬才 元山本町三丁目 但し立木の儘 藤井商店

小犬 牡、名稱エス、短毛色白、脚筋、尾捲上げ 右紛失、見當りの御方は下名迄御一報被下度切々御願申候(永樂町二丁目 玉非)

番外 ▲古本熱心高價買入 ▲御報參上 是非御試買を乞 ▲本町二丁目 電話三二九五番 ▲古物店高價買入 ▲交換依託 ▲注文商應 ▲黄金町三丁目 電話一八六二 ▲…古物店 電話諷物 二二〇三番

普通七拾錢 前金一圓 …金 番外 京日案内

大阪市南區難波小田町 福岡鐵工所内 大三島石粉合資製造會社 大阪販賣所 電話南四〇二八番

石兩品一般御需要各位の御便宜を相計り左記の場所へ販賣部開始致候付多少に不拘御用命の程希上候

◎寒水石(工業原料 建築用品) 一名炭酸石灰石 販賣

◎石粉(精米用 工業用) 販賣

販賣部開始

面白いほど儲かる卵 資金の多少に拘らず誰が實行しても年十割以上安全に儲かる貯卵法四六判五十二頁 切手二十錢 岡山…

店員入用 但五十歳以下 並に百…名募集 希望者本人來談あれ 京城府青葉町二の一 二〇番地 大橋…

恩給立替 地方は規定書を送呈す 京城府若草町郵便ポスト前入 西村商會 電話三〇六番 御便宜取扱致します

◎ほねつぎ うちみくじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

◎高等下宿 客室上等 丁寧親切 京城壽町三十二番地 富喜…

◎書生に被雇度し 當二十歳にして中學校卒業 望の御方は御通知被下度 京城旭町東京旅館内 松…

女子募集 年齢二十五歳以下 に手續にて給料廿五圓以上 但し直接本社へ來談ありたし 黄金町 シンガーミシン會社

仲仕入用 内地人廿歳以上四十歳迄市内に確實なる保證人を要す 給料面談 南大門通二丁目 電話三三五番 土佐紙會社支店

◎有給社員募集 希望者は至急履歴書添へ申込あれ 京城大和町一ノ四六 電話二八三七 日本徵兵保險株式會社京城支部

古ミシン高價買入 電話又ハガキ御一報次第參上 京城鐘路… 電話一三三八番 楠商店

會計簿記 …に熟練せる事務員を採用す 希望者は履歴書持參來談あれ 確實なる保證人… 日韓印刷所

純廿五馬力吸入瓦斯發動機關 却賣壹臺 製造年 大正三年大阪發動機株式會社製 各附屬品一切完備從來使用期間約四ヶ月 ○るのくち式セントルヒウガル喞筒 排水管口内經九吋半 一時間二千七百石一分間の立方呎二九五〇一分間の回轉數二百五十 水頭に對する所要實馬力廿四馬力附屬品完備 製造大正三年 使用月數約四ヶ月 ○鐵管内徑九吋長さ拾八呎物廿本 水頭百八十封度を奏功せし物 ○直流發電機 直流電動機 當壹臺 製造者米國 附屬品完備 ○二噸用製氷機 當壹臺 ○直流電動機 當三馬力 壹臺 ○三相交流變壓器 三キロワット ×四 キロ五キロ×一キロ半 各種 ○エアコンプツサー エンジン 大正三年製 附屬品附 使用年數約一年 ○レミントン機 機械工作製 諸機械製作工場 若泉武之助 京城府龍山漢江通七番地 電話長六二三番 電略ワカ

周易家相 岡村介石 京城明治町二丁目

勸業債券も一の借用證文に過ぎぬ 然しそれにしては餘りに低利なり ◎債券と云へば名稱はよいが畢竟り勸業銀行へ金を貸した其證文を見て可なし今日迄の低利にて貸金する人ありや換言すれば債券の所持者は郵便貯金の好利に甘んじ多大の利益を認むべき事を…本社は斯る債券の信託を受け最も堅實なる配當を爲す…債券の所持者は此度本社の債券利殖の方法に依り多額の利益を得らるゝ事…詳細を極めたる以て利殖の明細を得られんことを端書にて申込あれ 合資會社 勸業債券信託社(債券信託業元祖) 大阪市北區堂島濱通一丁目一八番地 電話北一五九〇番 振替口座大阪四五六〇一番

△愈々立派な寫眞となつて現はれました 大阪毎日新聞連載 菊地幽芳氏作 女の生命 當館にて封切り 原作そのまゝの脚色で小説を御讀みになるより以上の親しさが有り升 ▽新派百々地三太夫實傳(全四卷) ▽舊劇鐵道王の娘(第七篇 第八篇) 三月一日ヨリ 特別興行 黄金館

靴……と……靴 ▲服の形皮製 二十圓より四十五圓迄 ▲同ワングル製 十八圓より三十五圓迄 ▲手提形皮製 五圓七十錢より十三圓迄 ▲同ワングル製 五圓より九圓六十錢 尚特種製品の御用命にも應じ可申候御申越次第御報可申上候 ▲極上ボックツ皮 甲十一圓五十錢 乙十圓五十錢 丙九圓五十錢 ▲舶來キット皮 甲十六圓五十錢 乙十五圓五十錢 丙十四圓五十錢 但編上皮深ゴム共同ネダン 短靴は各一圓下り 御用命の節は靴の寸法足袋の紋數丈御申越被下度候 發賣元 京城大平通り 京城日報社代理部 電話長六千九番 振替京城二〇〇番

皮黴科 肛門科 京城明治町二丁目(元瞬町) 電話一一七三番 皮膚病 黴毒 痔疾 痔瘻 淋病 肛門疾病 入院隨時 診察夜九時マデ 佐藤病院

…三百十萬噸なりしが今年度の購入豫定は之より稍增加して三百三十萬噸內外にして其內廿五日迄に新契約成立せるは大手筋たる…千噸を加ふるに合計二百三…萬噸內外は大略決定を見たる次第なるを以て院拔新契は大部分決定…こ見て差支なし而して其成約値段…前年契約値段より…くされ三四割高値ならでは之に應ずる筈なしこ云び旣れも…する筈なし…業界の大勢を示す院拔契約は…

二十八日　前場　東京米　同　紡績　新東　大阪　…

◎差遣艦を訪ふ
鞍馬伊吹二艦來＝仁川沖の偉觀

旣報の如く國葬參列の鞍馬伊吹二巡洋艦は前來の濃霧の中を江華島に假泊して霧晴るゝを待ち漸く航行を續け午後三時二條の煤煙は彷彿として仁川港頭水天相接するの間に昇る、やがて八尾島沖に其偉容を現はし灰白色の巨艦を月尾島沖に横たへたのは午後四時四十分であつた

▽旗艦鞍馬 の檣頭に翻れた中將旗が夕風にそよぎもしない記者が鞍馬の舷梯を登る時、今ぞ軍艦作業中の同艦は全員戰鬪部署に就いて夫々勇ましい訓練を終る處であつた第三艦隊司令官黑井悌次郎中將は各艦長を集合して會議中であつた、興みも過ぎれば參謀長古川鈊三郎大佐、司令官に代つて語る『廿六日佐世保出港以來の天候狀態であつたが玄海灘を過ぎてからは濃霧に苦るしめられて二回迄も假泊するの止むを得ざるに至つたしかし

▽總員健全 で只今入港した。國葬に對する儀仗兵其他に關しては命令もあり總督府側と和文照會の往復で大要定まつてゐる。然し詳細は本夕(二十八日)午後七時總督府東條海軍武官來艦の上で打合せの結果確定する筈である。儀仗兵は二大隊であるから將校以下約六百を越すので二艦の水兵部の殆んど總てである、儀仗隊及び軍樂隊は二日に上京をして三日の國葬に參列の上同日午後歸京する豫定である』

▽國葬當日 の二艦では半旗を揭げ午前八時卅分靈柩殿を發せらるゝの時廿一發の弔砲を射ち總員は終日哀悼謹愼の意を表する筈である云々』因に兩艦は五日出港、鎭海に向ふ豫定で其泊中に軍艦觀覽を許可するさうであるから官公民學校生徒等の觀覽には極力便宜を與へらるべく追つて期日時間等の詳細は發表せらるゝ由

▽故李太王殿下に拜謁
古川大佐の追懷

古川參謀長は追懷に堪へぬ面持にて語る『自分は朝鮮とは緣故が深い明治卅年頃から砲艦大和に乘組んで全鮮の沿岸を航した三十年の冬は確か仁川港で越年したと覺えてゐる

▽其時分の 仁川を思ふと閘門式船渠の出來た現在の仁川が夢の樣である、三十三年の事であつた時の公使林權助男に從つて參內艦の將校一同が李太王殿下に拜謁を賜つた、當時は殿下が大帝、今の李王殿下を皇太子として御壯んの時代で我々一同は

▽朝鮮式の 輿に乘つて王宮に參入し拜謁の光榮に浴した今回自分が參列艦に乘つて再び鮮海に參り來るに際し其當時を追懷すれば感慨無量と云ふ外は無い』

◎肺の彈丸を其儘に
ク氏治療さるべし

クレマンソー氏は頗る元氣にて新聞を讀み食事も平生と變りなし、彈丸は肺の內部に止り居れども之を拔き取る事無く其儘パラフィンにて彈丸を包む方法を取り炎症を豫防する事に決定したり餘病を併發せざれば案外速かに回復すべし(巴里電報)

◎半島一つ賣れば……
購買力は衰へては居ない
本間總督府事務官談(下)

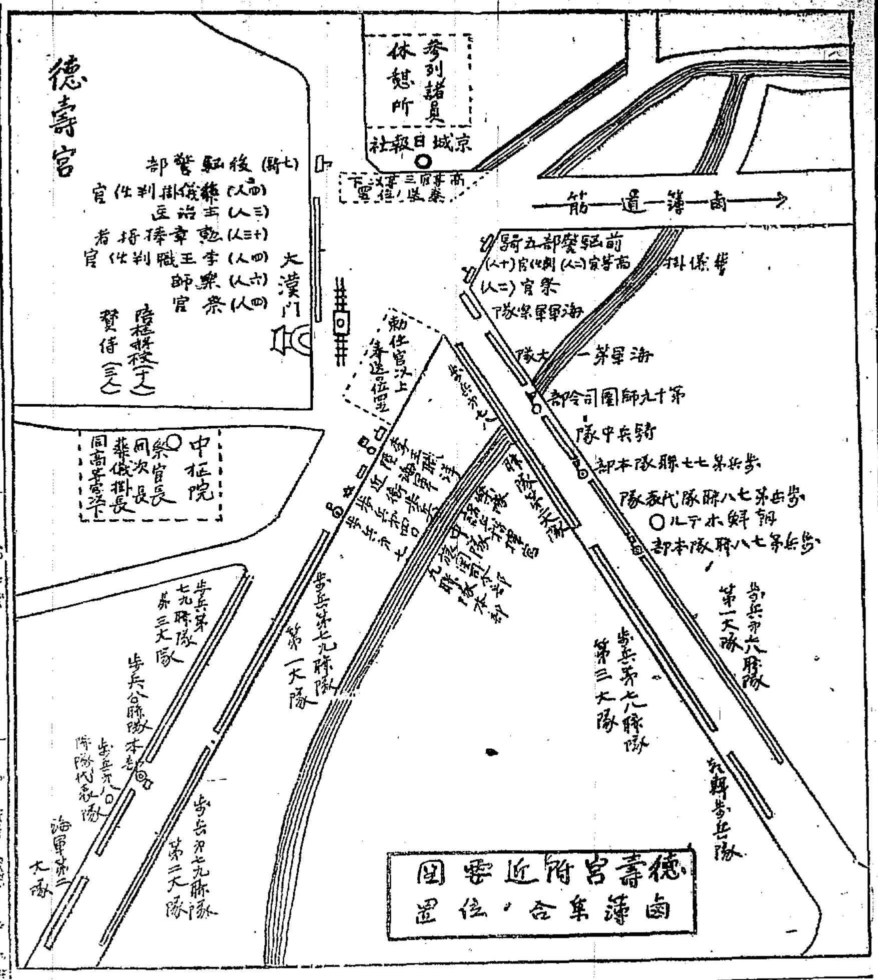
西伯利の物資缺乏の狀態は前述の如くであるが而も一方に於ては全然正反對の現象もある。例へば露國に行つて見ると禁酒の法令が出て居るに拘らず酒は盛んに飮む、大金を賭けて賭博をやるこいふ風な半面もある是等の事實から推測して

△購買力は 決して衰へて居るのではないこ云ふこごが想像される。殊に都合のよいこごは西伯利は比較的に都會地が多く人口が所々に纏つて居るこごで全人口の約四分の一は市街地の住民である、且つ人口の散在して居る地方へ行つて見ても產業組合の如きものが組織してあつたり或は移民會の出張所があつて地方民の必要品は此機關に依つて取纏めて買ひ又土產物を賣りもするものだから取引上頗る便利である、尙ほ申す迄も無く露西亞人の氣質は隨分呑氣に出來て居るから外國人が行つて取引するにしても仕事が仕易い、吾々の得意こして

△活動する には待つて來いであるが、其故後の地の秩序が整頓し交通貿易が自由になつた場合には吾々の大に活動すべき好機である、けれども前に述べた通り今日露國の財政紊亂は其極に達して居る。昨年七月頃迄の計算に於ては不換紙幣の發行高三百億留と云ふこごになつて居るが尙ほ此他に政府の發行したものに至つては計數も出來ない程甚だしきは過激派は每月十二億留宛の不換紙幣を發行したと云はれて居る是を如何にして整理すべきかは露國に取つては容易ならざる問題である

△案外平氣 なものである、或る露人、尤も是は責任ある人では無いが其話に依ると現下の露國の財政を整理するに就ては聯合國が皆の疲弊露西亞人は半島一つ位賣つても宜から、聯合國の參加を要求して取れるから何譯は無いと云つて居たさうだ兎に角此厄介な問題も早晩何等かの方法に依つて解決せられるこごと思ふ。其時に於ては對西伯利貿易は頗る活況を呈するこごだらう故に今日に於て十分の計畫を立て準備を爲すべきであらうこ信ずる。是に就ては世界各國共多大の注意を拂つて居るので我國は固より

△西伯利に 對して領土的野心を挿むものでは無いが少くこも今日に於て經濟的發展の計畫を立てゝ置くこごは最も緊急の問題である就中朝鮮こしては……益々……あるこ思ふ(完)



◎大輿行進こ朝鮮式葬列の二大豫習

殯殿を出で大輿に入るべき大輿の行進豫習は國葬終了後葬場より金谷墓所に到る朝鮮式葬列の豫習と共に廿八日午後一時より執行されたるが今其模樣を記さんに大輿行進豫習儀は大漢門の濃日下に同日正午頃

◎大輿を 殯用し德壽宮內殯殿より梓宮を遷奉せりと假定せる小輿を擔ぎ付きの輸送板に載せ光明門迄四十三間に亘る長き新設の木道を運び光明門よりは小輿は擔軍の手に移され大漢門の濃日下に大輿と並べ茲にて

◎梓宮を 小輿に遷移す此儀を爲し大輿は愈々國葬當日に加はりて殯引の準備成り即ち四百十二人の祭服姿の擔軍は夫々位置に就き鈴生りとなりて輿を揚げる擔軍の前後よりは太き四條の綱長く伸び引軍之を手にし指揮者の命を待つ、指揮者の命下れば前に立つ數十の擔軍次に動き次第に黃色燃ゆるばかりの

◎緋子の 帷に包まれた大輿は白日の陽光を浴びて進み下より浮ぶが如く搖ぎ出で次に後引動、前後四條の綱を守れる引軍は大輿を中心として一回大きく風車の如く旋回し更に陣形を作りて金谷町に入り葬場に向ひ更に返せるが大漢門及び黃金町沿道は觀衆を以て埋められ右大輿の進行を待ちて朝鮮式葬列は大漢門より順次進發したるが

◎大部分 は同日早朝永成門を發して東大門に先着し居たるに依り大漢門發の行列は各執事の彩輿、腰輿、紗籠等金色、紅色の彩ごり鮮かに葬具數町に亘りて綿々たるが同葬列は大漢門より光化門に向ひ鍾路電車通りに出で右折して東大門先着の列こ合し東大門にて返虞祭を行ひて清凉里に向ひて引返せり

◎國葬儀參列 諸名士の宿所

國葬參列の爲め入城せる諸名士及今後入城すべき名士の宿所左の如し

▲朝鮮ホテル 勅使日根野侍從、皇后御使三室戶主事、野田遞信大臣、古賀拓殖局長官、秋山陸軍大將、武田有栖川宮御代拜、坪井梨本宮御代拜、木村十宮家御代拜、根井海軍中將、山所海軍中將、彭山遞信省參事官、森山遞信大臣秘書官、入江拓殖局書記官

▲巴城館 東鄉海軍中將、重村海軍機關大佐、井戶川陸軍少將、東陸軍少將、木村宮內省秘書官、內田全權公使、五明領事、岡部內務監察官、池田內務技師、大縄技師、佐藤遞信試驗所事務官、河野會計檢査官、武藤會計檢査院書記官、島山判事

▲天眞樓 伊藤公爵、佐伯掌典、大木宮內書記官、岡田式部官、宮內書記官仙石子爵、宮木全北道長官、松寺檢事、張忠北道長官

▲山本旅館 田子高商務技師、渡邊行政裁判所評定官、澤田同評定官、牧野東京地方裁判所長、霜山司法省參事官、福野農科大學教授、明石農商務技師、上林咸北道長官

▲原金旅館 海軍儀仗隊准士官一行、李咸南道長官

▲不知火旅館 八尋忠南道長官、鈴木慶北道長官、元江原道長官、勝平南道長官、藤川平北道長官

▲浦尾旅館 申黃海道長官、工藤檢事長

▲ファミリーホテル 李全北道長官

▲京城ホテル 海軍儀仗隊本部

▲中村旅館三四會宮鈞氏方 倉富帝室會計審査局長官

▲龍山漢江通賀川直治氏方 小宮鈴顧問官

◎擊沈露艦の引揚に著手

日本海戰の當時對馬海峽にて擊沈された露國巡洋艦ウラジミル、ナヒモフ、アドミラルモノマフ二艦は今度大內興三郎外一名海軍省から放下命令を受けたる遞令同財部重大郎氏は大內氏から權利を讓り受け去十九日から引揚げに著手した(長崎)

◎革命黨領袖
ステパノフ氏東京へ

露國革命黨の領袖ステパノフ氏(二十四日朝遞信入港の賀茂丸にて來朝し山下町オリエンタルホテルに投宿、氏と共に何處へか外出し來訪者を待ちけるも氏は露宿せざりき、横濱在住の露國人中有識者の多數は氏を訪問し或は電話にて問合せるなど樣子あり氣也(横濱)

◎女の結婚期は廿三
學校を出てから二年は家事見習
早婚から來れる兒の死亡率が多い

男女が生理的に結婚してよい年齡は女子二十歲、男子が二十五歲以上に達した時ですが結婚は單に生理上ばかりで定める譯には行きません、寧ろ生理上の事より

△外の事情 の方が大いに慮るべきです、日本では今迄大抵女學校を卒業するとすぐ十八九歲で結婚します、之はごう考へても早婚であるこ思ひます、私の考へでは、女學校を卒業後少くも二年以上何か職業教育をさせ其後の二年位は家庭に落着いて親に孝養しながら又弟妹の世話をしながら家事一般の見習ひをさせたい又女學校に入學させるこごの出來ない事情のある

△家庭では 高等小學校を卒業して工場に働くなり事務員なりしてから世間を見せてからにしたいからするこ何れも年齡は廿二三歲こなり自治の道を得て自分で自分を處理して行く事も出來、社會に對する觀察も充分こなり從つて如何なる男が自分の夫こして適當であるか夫の選擇をする事が出來ます十八九歲で妻こなつては家事の整理も解らないし世間の事も知らないしするから夫に全然依賴して交際から何から指圖を受け又姑に子供を育てゝ

△貰ふこ云 ふ風になる傾きがあります、ですから男子は是非可愛いけれご自分の相談相手こはならない友達にもならない、是は斯る弊風を除くためにも女子の結婚期を廿三歲から廿五歲位、或は夫れ以上の年齡になつても少しも差支ないこ思ひます、さうすれば一般の風習になれば男子も非常に年齡の違ふ、十七八の娘を妻にしたいこ云ふ考へを自然取去るやうになるでせう、先づ夫婦こ

△餘り年齡 が相違するのは生理上からも精神上からもよくありません、女子二十四五歲、男子三十歲位こ云ふのが一番よい配偶です、婚期が遲れるこ人口が減少すると云ふ人もありますが餘り早婚の子は肉體も精神も發育が悪いのです、晩婚の方が健全な兒童を產む事が出來ます、又女子を餘り永く結婚させないで置くこ神經衰弱にかゝるこ云ふ人もありますがそんな事はありませんそれは

△私の友達 もう結婚した、ごこそこの孃さんも嫁に行つたなご、氣をもむからです、それ故誰も彼も早婚しないこ云ふ事になれば安心して神經衰弱等になる人はありません、又三十歲なごの初產は難產が多いこ云ひますがそれも人の體格による事で却つて早婚の人に婦人病にかゝるのが多いやうです

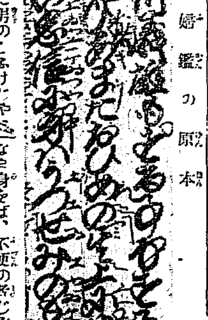
白晝のピストル 貞婦鑑
九州浪露の傚
(その二)

折から歸る義雄よ、豫て情婦の眞信こ牒し合せて女房を、離別の後は密籍こ、言ひかはすれご今の身で、先立つ金の工面には、あれかこれかこ思へども、皆及ばぬこごばかり、遂に悪事に意を決し、さあらぬ体にて立歸る。それごも知らぬ女房は、涙かくして出迎へ、『今お歸りでござりますか、爰四五日のつゞけに、何か御苦勞なされしか、お顔の色も常ならず、御酒召すのはよけれども、あまりお過ごしなされては、御身の上にもさわりませう、少しはたしなみなされたが、よからうかご存じます』こ、言へば郡野川目に角立て、『エヽやアだまれ、あつつけやうが癪にさはらうが、此義雄が器量ですることさ、いらざる女の差出口、義雄が心に叶はぬ、離別すべしかう思へ』こ、思ひがけなき一言を、聞くよりわつこ泣出し、『かゝり……それやあんまりじや胴慾じや、如何に男のこふけにやごて。わたしに

何の咎あつて

離別するこは聞えませぬ、去年の山の失敗より、つゞく不幸の其上に、淺水こ逼ふ茶屋の金、日每にかさなるおひめにて、貧苦にせまれご何のその、昨日は衣類今日はまた、髮のかざりも質に入れ、大事ご朝夕は、泊りの客を大切に、機嫌氣褄を取る顏に、笑うてゐれご心には、泣くよりつらき胸の內、誰に語らん人こては、主より外になき身をば、不便の者じや可哀やこ、やさしき詞の一言も、聞かして見れてもまんざらに、あたるまい、それに引替だしぬけに、離別するこは何事ぞ、あんまりなむごい胴慾こ、うらみかこつぞ理なり。義雄は耳にもかけず、『エヽ、うるさい奴じや、幾ら泣いて見せたこて、此の義雄が心は鐵石、一旦男子が離別こ言へば、覆水は盆に歸らぬ、三行半の離緣の去り狀、認め置いたれば、これを持つて立ち歸れ、それとも貴樣が歸らずば、おれから先へ出て行く』

あなたに罸も



貞婦鑑の原本

跡は勝手にす

こ立上る裾引留め、『可愛や、待つて下さんせ、私がわるくば誤ります、それこんなつれなき言葉を、しこおつしやれば、いつもながら伊勢屋さん、御迷惑でも來て頂き、彼御方の思案もかり、互に合點の行くならば、私も未練は申しませぬ、暫らくお待ち下され』こ走り行く

◎齒科學醫
四月から採用

陸軍に齒科軍醫を採用するこごは今議會を通過し既に之に要する豫算も決定した事こて愈年度變りの此の四月から採用實施すべく陸軍其の他の件に就き目下夫れ〴〵

◇詮衡中 である右に就き陸軍省醫務局員は語る『齒科軍醫こ稱しても所謂將校待遇の雇員であり一般の齒科醫界の開業資格ある者から差當り二十五六名を採用して二等以上の衞戍病院に配置し特別に齒科の方を擔當せしむる豫定である尤も之までの軍醫でも齒科治療の心得は無論あつたが特別に

◇技工を 要するものになるこごうしても專門家でなくては駄目だ夫れで今回の西伯利出征軍にも三名の齒科軍醫を從軍參加せしめたが成績良好であつた』こ云々(東京)

◎我社主催 長瀧師講演會
▼本一日午後四時より日の出小學校にて

時運の趨向に鑑み世出兩界敎宣の大猷を光揚せんが爲めに生れたる日蓮主義國柱會田中智學師の高弟にして一門の新智識こ稱せられ學德共に高き『立正安國論新釋』著者長瀧知大師は今回京城を振り出しに鮮內各地に於て同會々員の爲め講演を爲すべく廿六日入城目下初音町國柱會支部に駐錫中なるを機こし本社は一般讀者の爲め別項社告の如く同師に請ひ本日(三月一日)午後三時より日の出小學校に於て『我國こ近代思潮』の題下に同師の講演會を開催す近代思潮の眞髓を知り人類の眞意義を味はんこするものは奮つて來聽あらんここを

◎京日講演會　聽講隨意

―(演　題)―
我國こ近代思潮
―(講　師)―
長瀧智大師
三月一日午後三時より開會す
……京城……日之出小學校に於て……
主催　京城日報社

◎愈々春だ
暖くなつて來た
國葬當日は？

此の冬の寒さも二月五日の零下十八度三を名殘にして其れ無い暖かでも是から、笫に一歩づゝの暖かさが增して來る、日郭な日和に際へた今、此の先の、天候は如何に、氣象は再び冬を返す樣な事は無からうか杯こ思つて京城測候所を訪問した所が所員は左の如く語つた

二十七日支那東海に七六〇粍前後の低い氣壓が現はれて南鮮の沿岸を掠めたので南鮮地方は多少

◆荒れ模樣 で雨に風を伴なつたが二十八日朝に至つて中部支那の高氣壓は東角から黃海に擴がつて氣壓配置が緩慢のために二十八日朝京仁地方乃至西鮮方面は霧を報じたが鴨綠江以北は快晴こなり同日朝南鮮方面は未だ前日の風雨の名殘で多少荒れ氣味で釜山木浦地方は北がかりの疾風が吹いてゐるが次第に天候は恢復して

◆好天氣に なる模樣で あるから目先急劇な氣壓配置の變動を見ざる限り此の快晴は持續するものこ見て差支なからう、溫度も二十日から大分暖かになつて二十八日朝は一度四で例年より五度許り溫かである、是から先は假令三月に入つて雪の

◆ちらく する樣な事はあつても劇寒の襲來する事はあるまいこ思ふ、因に二十八日の日中は攝氏十一度に昇つたので之を華氏にするこ五十一度八になるから何こ云つても暖かい筈である

◎內鮮人の爭鬪

慶北醴泉郡安溪面龍基洞にて農業を營み傍大工をなし居る土居藤一(三五)の弟藤次郎(二八)は去る十六日午後三時頃居村土居宮之助方に赴き歸途同地金京先(三〇)なる鮮人こ言語の不通より喧嘩をはじめたり之を聞きたる兄藤一は直ちに現場に駈つけ弟を助勢し共に鬪爭しゐたる處へ通り合せたる同地金文川(三八)が双方を引分けんこしたるに喧嘩は益猛烈こなりこゝに双方四人は入り亂れて鬪爭しゐたるが藤次郎は自宅に馳戻り鎌刀を持ち來りて金京先を斬りたるに傷深かりけん京先は約三十分にして絕命したりこ

◎歌子女史一行

西伯利よりの歸途二十八日朝入城せる基督敎婦人矯風會慰問使林歌子女史の一行は一日朝八時四十分發の列車にて大邱に赴くべし

演藝

▲黃金館 新派悲劇『涙』一家は、雨ろゝが如き行掛りの趣に終を告げ一日より大阪每日新聞に連載喝采を博したる菊池幽芳氏の小說『女の生命』を上場すべし右は大阪樂天地にて映寫したるのみにて朝鮮にては今回の興行が封切なりとそ北斗なる名作は寶島スエツランドの發、喜劇探の尻に、活動百態三六夫の雜劇滑稽道王の多…

丹平商會發賣の『蛇印』
アンチピリン丸
安全第一の
かぜねつ特效藥
特長
▲最新高貴藥の配伍。
▲絕對に副作用なし。
▲胃中に溶解し易し。
主効
かぜねつはやり熱、頭痛、腰痛、リウマチスオコリ其他熱一切に偉効あり
藥價
十錢　十五錢　廿錢　三十五錢
到る處の藥店に販賣す

コドモ(七歲より以下)のかぜねつにオイシン
藥價十錢廿錢三十錢各藥店にあり

日大福音 平和後の
本社は平和後に於ける新時代要求に應ずべき新方法の下に製造品を百貨の便に供して…大金儲を爲す特約店大募集…東京神田區…株式會社…

最新刊
論語講義　細川潤次郎・南摩綱紀共述　四・五〇　送料二四
國民道德讀本 田邊…著　一・五〇　八
日蓮國家觀　淺子…　一・二五　二
婦女ささのまい　生田春月　八五　六
ハイネ詩集　…　一・〇〇　四
新鑛山と鑛業法　岩永・丸山共著　九〇　六
世界大戰史　特價六回送二十四錢　前編　九〇　六
二宮尊德の民主生活　…　八六
野西勘三郎 小説 人の罪 前編　一・五〇　八
京城本町一丁目　大阪屋號

母と子（百二十）

北島春石作　森田久畫

霜の朝（二）

「さう云ふ關係を結ぶのもなれば」わざ〳〵古瀬君が電報を打つたも無理でない。』と、雅巳は輕く受け答へながらチョンガーを呼んで、日本式の茶を入れさせ、それを斯波にも薦めれば自分も一口味はつて『サテさうと聞けば、十二分に歡迎準備をせんければならんが、今も言ふ通りの始末で何一つ珍客を喜ばせる事が出來ぬから、唯眞心を以て歡待するばかりだが……その神崎と云ふのは京城のものかね。』

『二三日前に來た端書で、朧氣ながら知つたに止まるが、確か日鮮興業會社の社長とかで、本社は東京に在つて京城に支店があるところから、近頃社用で渡鮮したのを、何かの機會で古瀬社長と知己になり、今問題の鑛山を經營中と語つたので、多少は株を引受けていゝと相談が纏まり、一應は鑛山の現況をと、今日實地視察に遣つて來るものらしい。』と、斯波の說明は可成に委しかつた。

『日鮮興業と云へば東京でも多少は認められて居る會社で、僕はその名のみを知つて逢つた事はないが、何でも神崎昇一郎と云つた筈だ。』と、今更ながら雅巳は感慨無量の體『戰時に於ける泡沫會社の誹謗は免がれぬまでも、僕とて一度は其會社の重役となつた經驗がある。ところが、その會社が解散の非運に遭ひ、懐しい妻子と別れて都落した結果、舊友の古瀬を賴つて朝鮮へ渡り、遂にはこの鑛山の一鑛夫とまで零落したが……僕うしてつく〴〵考へて見ると、人の運命ほど不可解なものはない。』

『その點は此方も亦御同然にと言ひたいね。』と、斯波もおなじく嗟息した『僕は今まで無妻主義で通

いたから、妻子の愛に苦悶を感じぬ代り、故郷には兩親が殘してある。それを思へば、一日も早く成功して喜ばせねばならんが、サテ何時になつたら成功の秋に歸り得るか、まつたく悲觀せざるを得んやだ。』

『ちア、悲觀と悲觀とが衝突した譯か。』

『は……は……、まづはそんな譯だ。』

『あまり有難くないね。』

『御同然に。』

兩人は相顧みて苦笑した。が、やゝ暫くしてから

『そこで、岸上君。』と、斯波は改めて言ひ出でた『古瀬君がこゝに暫く時刻も解つて居るので、切めて茂朱附近まで出迎へねばならんのだが、僕は韓人鑛夫を募集する件で、これから直に鑛山まで出かけねばならんから、一つ途中まで出迎へてはくれまいか。』

『いゝとも……なくとも茂朱まで出かけたいと思つてゐたところ、もう朝飯も濟んだ跡だから早速出かけるとしよう。』

『と、相談一決したら途中まで一緖に行かう。』

『直ぐ仕度するから待つてくれ。』

雅巳は彼の書面を取上げ、一寸筆を走らせてその上書を斯波に示した。見れば、東京の郊外に住む森泉浩樹に宛てしものであつた。

それが濟むと、手早く外出の身仕度をして温突を立出で、チョンガーに命じて二頭の韓馬を曳出させる。

『何うも待たせて濟まなかつた、あまり遲くならぬ中にそろ〳〵出かけよう。』

『うむ、それが何よりだ。』

おもひ〳〵に韓馬を引寄せて、颯然と跨るや、兩人は轡を並べて鑛田を降つた。

夜はすつかり明放れて、空高く陽は上つてゐるが、温かい温突から飛出た戸外の嚴寒は喩ふるに物もなく、その面を掠め去る山の朝風は鍼をつかんで叩き付けるやうな疼痛さへ感じられた。

けれど、それとても僅に四五丁を進む間で、外氣に馴れて來ると兩人の間には愉快らしい談笑さへ交へられたのである。

鑛山を降り切ると路は二つに別れ、その右をとつて斯波は鑛山へ雅巳は左手の道を指して茂朱へと行く。

◇新入學の 女子の服裝

◇餘り派手なものは不可
◇活動に便なものが良い

新しい學年が近づいて新入の子供を持つ親達は其の準備で心配な事は種々ある。殊に女の子は服裝の問題で中々親達の氣を揉ませるやうである。之は女子としてはさもあるべきことではあるが學生中は未だ

◇一人前 の女にならぬ修養すべき大切な時期であるから在學中は服裝のことに就て兎角心配はない、而し女の嗜みとして華美の附かない襟張りした氣持のよいものを前に著けてゐる事は大切である同じ著物でも袖の長いのや紫がかつた派手な色彩のものは成可く避けて袖の短い活動に便利なキリッとした服裝を作る事が第一である、活動力と服裝とは

◇餘程の 關係を持つてゐるのであるから學生時代の體操もやれば種々な遊びをして盛んに活動するのには著物の作り方も丈夫に身輕く活動するに便利な樣にするがよいと思ふ、茲に面白い事は新入生や一二年時分には教師や親達の言付けに從つて服裝も簡易で活動、敏活であるが上級生になるに從つて運動等は餘り好まなくなつて來る。之れは

◇生理上 其他から來る原因であるが家庭の人は先づ其の子の體育に就いて常に注意する必要があると思ふ、それには家庭ばかりではなく常に學校と連絡を保ち學校と家庭とが相談の上で子供の教育を進めて行く事が大切である新に生徒を入學させるにしても人頼へ等ではなく家庭の人自らが出懸けて行つて其學校の方針も聞き自分の家庭狀態や子供の性格等を話してお互に了解を得て置く必要がある、殊に女子教育は學校と家族的にしなければならぬと思ふ

日報歌壇

行路社同人詠草

×　鵜見遊鳥
東風ふけば納屋わきの梅なよやかにゆれてひそかに音をならすも
納屋わきの梅なよやかにゆられつゝ東風きくこよの寂しきひる日

×　内野泉
椿枝の山雀などにみじろがす大竹がやさ出づる
小鳥啼く山ふかん〳〵さわけ入ればそこここにさける赤き高龍

×　成佐幸三
秋葉田秋葉の山の野鮮風朝戸を出づるわれはさむしも
まばだかの秋葉の山の朝のうれに野解の風は吹きてやまずも

×　川合良三
いまだ明るき夕の空を群鳥なきゆく方に雪の山見ゆ
暮れながらいまだも明かき夕空に鳥のこゑは澄みてはるかなり

×　小浦夕影
八雲にわが立ちつくしこの木け出むるゝ思へば人もなつかし
かにかくに時はめぐりてゆくものをおのれ今年はいかに生きなむ

×　三坂翠浪
しん〳〵とくだつ夜の部屋裂けせる音ゆみ高くさびしくなれり
ふと見れば幾ときならむ火鉢の火さへしくなりて身の冷ゆる感す

×　鹿田修
ひさこさと吹き寄せられし辻の雪向きなわびて電車待つわれは
風すさむ夜の辻に電車待つわれに足冷ゆすやさびし君はも

日報柳壇

雛

白酒雛に飲ませてよごしたり　鐸庵
雛壇は大正になつて居ず　同
ハイカラの雛を博多買つて來る　椰蛙
雛抱いて抱かせて戻る雛の市　同
雛道具ばかり背山へ流れ著き　十の字
紙幣を伏せるさ雛の高御座　同
妹へ樸素葉の雛をやり　厄介坊
サンキューな雛妓が新開地　同
酒盛に男を交ぜぬ雛祭　癸平坊
妹に雛をこられる腹ちがひ　同

新刊紹介

▲木製玩具製作法（小泉吉兵衞著）木製玩具の製作法百餘種を一々圖示して說きたるもの之によりて練習せば玩具を簡易に製造し得べし（一圓二十錢、東京博文館）

▲婦人界（三月號）柳澤博士の家庭學派の氣風を旺にせよ、総稅女史の五百圓の最も有効な利殖法、井上哲次郎博士の松井須磨子論、市川、山脇、三角の三校長と小郎教授の家庭に於ける、惡習慣改良の意見を佐々博士、姫嶋中八百村、田博士の眠られぬ兒の安眠法、小說に菊池寛作、心の扉、森有作、講談、押上の龍（白山）其他　廿五錢、東京京橋區（東京社）

▲實業之日本社（二月十五日號）財界破綻防止策として、破綻を防ぐは財綻の責任安田善三郎、斯くして財界の破綻を防止せよ棚橋寅五郎、財界破綻五大防止策服部文四郎、財界の大勢襲ふる足らず池田謙三等の諸說あり、目下流行の惡性感冒の防ぎ方藤田醫學士、惡性感冒の簡易療法小野寺學士考案、他權利慾と知識欲村田社長、自由國民の底力新渡戸博士、千眞閣の社長の前身紀[illegible]業之日本社）

▲婦人畫報（三月號）宮良も肥羊も共に[illegible]にして、穗積博士の家族制度の話、新渡戸博士の各人の料理、高島教授の子供と履物の事[illegible]其他の女學校卒業の[illegible]問題等[illegible]菊池[illegible]、渡邊[illegible]の長篇小說其他何れも一讀に値すべし、定價四十五錢各書店（東京東京畫報社）

▲教育論叢（高田早苗著）教育の根本論を說て社會各方面の弊害を論評し其の長所を助成せしむべきことを論ぜる好著七十五錢、東京赤坂丹後町五光文館）

▲生活と兩性問題（米國ギルマン女史著、大日本文明協會譯）兩性問題は不自然なる經濟關係の由來及影響、社會進化と兩性關係の變遷、婦人界の新傾向、其他家庭に關する婦人の立脚地、一面より生活と兩性問題を研究せる書（一圓六十錢、東京牛込水道町三八文明協會）

▲實業之青年（三月號）十六錢東京麴町區八官町一ノ七共榮社

▲時事評論（二月號）三十一錢東京[illegible]三ノ二、八共社

▲家事講習錄（[illegible]婦人日常の生活上必要なる[illegible]）[illegible]東京[illegible]

▲教育時論（二月號）十二錢東京[illegible]開發社

▲帝國農會報（九ノ二）十二錢東京[illegible]帝國農會

おいしい料理（第一）

◇蓮のすまし汁　蓮は皮を剝き大根おろしにて洗ひ汁を加へ撫り、[illegible]メリケン粉少し、鹽少しを入れて好く捏ねて湯の中に包んでさつと蒸し、冷してから小さく千切り、胡麻油にて揚げて鍋に入れて[illegible]鰹節なかに、出し汁を水から入れて沸騰したら鹽加減をして醬油の割りか、酒を入れて更に好く煮沸し、[illegible]汁に進む、前の揚げ蓮を二つばかり入れ、茗荷を刻んで入れ茶碗に盛て出す

讀者の領分

▲京城市の道路溝渠は近年着々其の改修を進め一般市民の幸福とするは實に僕たざる處なるも市内本町即ち旭町花園町櫻井町等に於ける下水溝の不完全なることは言語に絶す毎年學校の旅行は此等[illegible]未だ斷然として當市に厲延することなきは誠に寒心の至りならずや殊に本町の如き商人の雜居するもの多く下水には汚泥を流し甚々停滯するの狀況なり此等は未だ下水改修には大なる工費を要せずして執行せらるものと思考す當局の御熟考を望む（龍木町の一官吏）

▲現今の城で朝から晩まで[illegible]的美人妓生は誰でありましようか（一町會生）

▲貴紙特に係る中村[illegible]氏と參非身氏との面白く拜讀を居ります[illegible]

◎京城一月貿易

[illegible]一月と對比すれば輸移出十一萬二千八百餘圓輸移入九十三萬六千餘圓の增加を示せり重要品の概況左の如し

[illegible]郵便物及び鐵道小手荷物等[illegible]の關係上仁川經由内地仕向は多數あり

▲大豆　移出額千八百五十七石[illegible]

▲紙卷煙草　輸出額十九萬三千餘圓[illegible]

▲砂糖　輸移入額二萬三千餘圓にして[illegible]

[illegible]

資本金參百萬圓

（明治三十八年設立）

當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ懇切ニ取扱申候

京城南大門通一丁目十四番地

株式會社 漢城銀行

長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡

支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山、東京

總ての難病が治る

二十分宛一週間で藥を用ゐず

空前の世界的發見「調精術」の話

森田義郎先生が半生の心血を注いで創始した調精術は藥を用ゐず器械を要せず二十分宛一週間で如何なる難病も即坐に治り身心を強健にする事が出來るので高木兼寛、井上、三浦諸博士は空前の世界的發見と激賞し調精術が普及されると、どん人なでも身體が丈夫になつて、世の中に病氣といふものが無くなつて醫者と藥が不用になるだらうと言はれてゐる而も此偉大なる調精術が二十分宛一週間で會得出來て即時實行出來るといふので福澤桃助、菊地武德、花井卓藏等の名士は何れも之が熱心なる實行者となり多年の痼疾を一掃し其効果の顯著なるに驚いてゐる森田先生は『之に依つて死者を甦生した事さへある其他肺が悶え、足が立ち、二期三期の肺病、腹膜炎、神經衰弱、脚氣、リユウマチス、神經痛、慢性胃病等の醫者の匙を投げた難病を僅か一二回の施術で全治した例は枚擧に遑ない』自分の病氣を治し家人の病氣を治す爲め讀者は森田先生が救世濟民の爲め公開せられた新著『調精術』を御讀下さい、總振假名附で一讀何人にも了解出來る。定價一圓五十錢、郵税十二錢を振替東京二三四四一番へ御拂込みあれ。代金引換はハガキで東京[illegible]調精術普及會に申込次第送本す

多の風引には

大學病院 模範方劑

東京 カゼピリン

解熱 完全

KAZEPIRIN

調劑確實有效保證

本舖 東京[illegible] 浅野榮天堂藥局

鮮滿無數の特約店にて販賣す

味噌の橫綱 ほまれ味噌

京城日報編纂

最新書式大全

各官廳ニ差出スベキ屆書、申請書、訴狀、願書、不動産及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書ヲ始メ河海、土工、郵便電信[illegible]市場、水産、農林、銀行、礦業、度量衡、特許意匠商標、實用新案[illegible]內地共通ノ書式テモ掲載シ一々關係法規ヲ摘記シタル詳細ナル樣式ト代書業者ハ勿論官衙官吏法律家實業家教育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右ニ一本ヲ備フルニ於テハ他人ヲ煩ハサズシテ世事一般ヲ知悉シ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友必携[illegible]

發行所 京城日報代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 電話六〇〇九番

取次販賣所 △大阪屋號 △岩松堂 △日韓書房

◆定價[illegible]◆

金言

錯雜に打勝つは新らしき活動なり　英國俚諺

正直は清潔と同じく容易くして氣持よし　ブラッチフォード

仁丹活用

▼消化不良に…仁丹十粒
▼胸腹疼痛に…仁丹廿粒
▼船車の暈に…仁丹五粒
▼頭痛目眩に…仁丹十五粒